

PCT/JP 2005/006867

14.4.2005

日 本 国 特 許 庁
JAPAN PATENT OFFICE

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出 願 年 月 日 2 0 0 4 年 5 月 1 0 日
Date of Application:

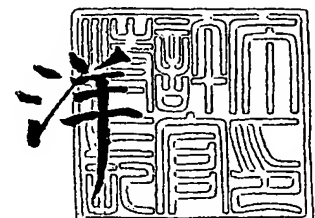
出 願 番 号 特 願 2 0 0 4 - 1 4 0 4 7 4
Application Number:
[ST. 10/C]: [J P 2 0 0 4 - 1 4 0 4 7 4]

出 願 人 ソニー株式会社
Applicant(s):

2 0 0 5 年 2 月 7 日

特許庁長官
Commissioner,
Japan Patent Office

小 川



出証番号 出証特 2 0 0 5 - 3 0 0 7 8 9 7

【書類名】 特許願
【整理番号】 0400024704
【提出日】 平成16年 5月10日
【あて先】 特許庁長官 今井 康夫 殿
【国際特許分類】 G11B 23/03
【発明者】
 【住所又は居所】 東京都品川区北品川 6 丁目 7 番 3 5 号 ソニー株式会社内
 【氏名】 大木 隆
【特許出願人】
 【識別番号】 000002185
 【氏名又は名称】 ソニー株式会社
【代理人】
 【識別番号】 100067736
 【弁理士】
 【氏名又は名称】 小池 晃
【選任した代理人】
 【識別番号】 100086335
 【弁理士】
 【氏名又は名称】 田村 榮一
【選任した代理人】
 【識別番号】 100096677
 【弁理士】
 【氏名又は名称】 伊賀 誠司
【先の出願に基づく優先権主張】
 【出願番号】 特願2004-114593
 【出願日】 平成16年 4月 8日
【手数料の表示】
 【予納台帳番号】 019530
 【納付金額】 16,000円
【提出物件の目録】
 【物件名】 特許請求の範囲 1
 【物件名】 明細書 1
 【物件名】 図面 1
 【物件名】 要約書 1
 【包括委任状番号】 9707387

【書類名】 特許請求の範囲**【請求項 1】**

ディスク状記録媒体と、

上記ディスク状記録媒体を回転可能に収納するとともに、上記ディスク状記録媒体の一部を内外周に亘って外方に臨ませる記録及び／又は再生用開口部が設けられたカートリッジ本体と、

上記記録及び／又は再生用開口部を開閉するシャッタ部を有し、上記記録及び／又は再生用開口部を閉塞した位置と上記記録及び／又は再生用開口部を開放した位置との間に亘って移動可能に上記カートリッジ本体に取り付けられたシャッタ部材と、

上記シャッタ部材の一側から延長された連結アームと、

上記連結アームの先端部側に基端部側を固定して上記連結アームに沿って延長するように取り付けられ、先端部側に、上記シャッタ部の基端部側に設けられて上記カートリッジ本体の一側面に対向する移動ガイド片に設けた窓部に臨ませられた押圧操作部が設けられ、上記押圧操作部を上記窓部からカートリッジ本体の外方に突出させるように付勢力が付与された弾性変位片と、

上記弾性変位片の中途部に設けられ、上記シャッタ部材が上記記録及び／又は再生用開口部を閉塞した位置にあるとき、上記カートリッジ本体に設けた移動規制部に係止して上記シャッタ部材の上記記録及び／又は再生用開口部を開放する方向への移動を規制し、上記弾性変位片が上記押圧操作部を介して上記付勢力に抗して押圧されたとき、上記弾性変位片とともに回動して上記移動規制部への係止を解除する方向に回動するシャッタ移動規制部と

を備えるディスクカートリッジ。

【請求項 2】

上記シャッタ移動規制部は、上記弾性変位片に一体に設けられていることを特徴とする請求項 1 記載のディスクカートリッジ。

【請求項 3】

上記付勢部材は、上記シャッタ部材の上記記録及び／又は再生用開口部を開放する方向に向かって上記シャッタ部材から延長されていることを特徴とする請求項 1 記載のディスクカートリッジ。

【請求項 4】

ディスク状記録媒体と、

上記ディスク状記録媒体を回転可能に収納するとともに、上記ディスク状記録媒体の一部を内外周に亘って外方に臨ませる記録及び／又は再生用開口部が設けられたカートリッジ本体と、

上記記録及び／又は再生用開口部を開閉するシャッタ部を有し、上記記録及び／又は再生用開口部を閉塞した位置と上記記録及び／又は再生用開口部を開放した位置との間に亘って移動可能に上記カートリッジ本体に取り付けられたシャッタ部材と、

上記シャッタ部材の一側から延長された連結アームと、

上記連結アームの先端部側に基端部側を固定して上記連結アームに沿って延長するように取り付けられ、先端部側に、上記シャッタ部の基端部側に設けられて上記カートリッジ本体の一側面に対向する移動ガイド片に設けた窓部に臨ませられた押圧操作部が設けられ、上記押圧操作部を上記窓部からカートリッジ本体の外方に突出させるように付勢力が付与された弾性変位片と、

上記シャッタ部材に回動可能に設けられ、上記シャッタ部材が上記記録及び／又は再生用開口部を閉塞した位置にあるとき、上記カートリッジ本体に設けた移動規制部に係止部を係止させて上記シャッタ部材の上記記録及び／又は再生用開口部を開放する方向への移動を規制し、上記弾性変位片が上記押圧操作部を介して上記付勢力に抗して押圧されたとき、上記弾性変位片とともに回動して上記移動規制部への係止を解除する方向に回動するシャッタ移動規制部材と

を備えるディスクカートリッジ。

【請求項 5】

ディスク状記録媒体を回転可能に収納するとともに、上記ディスク状記録媒体の一部を内外周に亘って外方に臨ませる記録及び／又は再生用開口部が設けられたカートリッジ本体と、上記記録及び／又は再生用開口部を開閉するシャッタ部を有し、上記記録及び／又は再生用開口部を閉塞した位置と上記記録及び／又は再生用開口部を開放した位置との間に亘って移動可能に上記カートリッジ本体に取り付けられたシャッタ部材と、上記シャッタ部材の一側から延長された連結アームと、上記連結アームの先端部側に基端部側を固定して上記連結アームに沿って延長されるように取り付けられ、先端部側に、上記シャッタ部の基端部側に設けられて上記カートリッジ本体の一側面に対向する移動ガイド片に設けた窓部に臨ませられた押圧操作部が設けられ、上記押圧操作部を上記窓部からカートリッジ本体の外方に突出させるように付勢力が付与された弾性変位片と、上記弾性変位片の中途部に設けられ、上記シャッタ部材が上記記録及び／又は再生用開口部を閉塞した位置にあるとき、上記カートリッジ本体に設けた移動規制部に係止して上記シャッタ部材の上記記録及び／又は再生用開口部を開放する方向への移動を規制し、上記弾性変位片が上記押圧操作部を介して上記付勢力に抗して押圧されたとき、上記弾性変位片とともに回転して上記移動規制部への係止を解除する方向に回転するシャッタ移動規制部とを備えるディスクカートリッジが着脱自在に装着されるディスク記録及び／又は再生装置において、

上記ディスクカートリッジが、上記シャッタ部材が移動する一の側面に直交する面側を挿入端として挿入されるカートリッジホルダを備え、

上記カートリッジホルダには、上記ディスクカートリッジが挿入されるとき、上記弾性変位片をその付勢力に抗して回転して上記シャッタ移動規制部の上記移動規制部への係止を解除し、上記シャッタ部材を上記記録及び／又は再生用開口部を開放する方向に移動させるシャッタ開放操作機構が設けられているディスク記録及び／又は再生装置。

【請求項 6】

ディスク状記録媒体と、上記ディスク状記録媒体を回転可能に収納するとともに、上記ディスク状記録媒体の一部を内外周に亘って外方に臨ませる記録及び／又は再生用開口部が設けられたカートリッジ本体と、上記記録及び／又は再生用開口部を開閉するシャッタ部を有し、上記記録及び／又は再生用開口部を閉塞した位置と上記記録及び／又は再生用開口部を開放した位置との間に亘って移動可能に上記カートリッジ本体に取り付けられたシャッタ部材と、上記シャッタ部材の一側から延長された連結アームと、上記連結アームの先端部側に基端部側を固定して上記連結アームに沿って延長するように取り付けられ、先端部側に、上記シャッタ部の基端部側に設けられて上記カートリッジ本体の一側面に対向する移動ガイド片に設けた窓部に臨ませられた押圧操作部が設けられ、上記押圧操作部を上記窓部からカートリッジ本体の外方に突出させるように付勢力が付与された弾性変位片と、上記弾性変位片の中途部に設けられ、上記シャッタ部材が上記記録及び／又は再生用開口部を閉塞した位置にあるとき、上記カートリッジ本体に設けた移動規制部に係止して上記シャッタ部材の上記記録及び／又は再生用開口部を開放する方向への移動を規制し、上記弾性変位片が上記押圧操作部を介して上記付勢力に抗して押圧されたとき、上記弾性変位片とともに回転して上記移動規制部への係止を解除する方向に回転するシャッタ移動規制部とを備えるディスクカートリッジが着脱自在に装着されるカートリッジ装着装置に装着されるディスクカートリッジにおいて、

ディスク状記録媒体と、

上記ディスク状記録媒体を回転可能に収納するとともに、上記ディスク状記録媒体の一部を内外周に亘って外方に臨ませる常時開放された記録及び／又は再生用開口部が設けられたカートリッジ本体とを有し、

上記カートリッジ装着装置に装着されたとき、上記弾性変位片をその付勢力に抗して回転して上記シャッタ移動規制部の上記移動規制部への係止を解除するシャッタ開放操作機構の上記弾性変位片を押圧操作する押圧操作部を位置させ、上記シャッタ開放操作機構による上記カートリッジ本体に対する負荷を回避するようにした押圧力回避部を上記カートリッジ本体に設けたことを特徴とするディスクカートリッジ。

【書類名】明細書

【発明の名称】ディスクカートリッジ及びこのディスクカートリッジを用いるディスク記録及び／又は再生装置

【技術分野】

【0001】

本発明は、光ディスク等のディスク状記録媒体を収納したディスクカートリッジ及びこのディスクカートリッジを記録媒体に用いるディスク記録及び／又は再生装置に関する。

【背景技術】

【0002】

従来、光ディスク等のディスク状記録媒体を回転可能に収納し、ディスク状記録媒体を収納したままの状態記録及び／又は再生装置に装着されるディスクカートリッジが広く用いられている。この種のディスクカートリッジは、ディスク状記録媒体をカートリッジ本体に収納することにより、ディスク状記録媒体の保護を図り、記録及び／又は再生装置への装脱を容易に行うことを可能としている。

【0003】

この種のディスクカートリッジは、ディスク状記録媒体をカートリッジ本体に収納したままの状態記録及び／又は再生装置に装着可能とすることから、カートリッジ本体には、ディスク状記録媒体を回転操作するためのディスク回転駆動機構を構成するターンテーブルを臨ませるための駆動用開口部と、ディスク状記録媒体の信号記録領域の一部を内外周に亘って外方に臨ませる記録及び／又は再生用開口部が設けられている。

【0004】

そして、ディスク状記録媒体を収納したディスクカートリッジにあつては、カートリッジ本体に塵埃等が侵入しディスク状記録媒体が汚損されることを防止するため、少なくとも記録及び／又は再生用開口部を開閉するシャッタ部材が設けられている。

【0005】

また、ディスクカートリッジがディスク記録及び／又は再生装置に装着されない保管時等に記録及び／又は再生用開口部が不用意に開放され、この開口部を介して手指等の異物がカートリッジ本体内に侵入してディスク状記録媒体を損傷してしまうようなことを防止するため、バネ部材等の付勢部材を用いてシャッタ部材を常時記録及び／又は再生用開口部を閉塞する方向に付勢するようにしたものが提供されている。

【0006】

そして、シャッタ部材を付勢するバネ部材の取り付けを容易にするため、シャッタ部材にバネ部材に一体に設け、シャッタ部材のカートリッジ本体への取り付けと同時にカートリッジ本体に取り付けるようにしたものが特許文献1、特許文献2において提案されている。

【0007】

そして、特許文献1に開示されるディスクカートリッジは、バネ部材によりシャッタ部材を記録及び／又は再生用開口部を閉塞する方向に付勢するのみであるので、例えば手指でシャッタ部材を把持する等してバネ部材の付勢力に抗して移動させようすると、記録及び／又は再生用開口部を開放する方向に容易に移動してしまう。

【0008】

また、特許文献2に記載されるディスクカートリッジは、更に、記録及び／又は再生用開口部を閉塞する位置に移動されたシャッタ部材を閉塞位置にロックするシャッタ移動規制部材が設けられている。このディスクカートリッジによれば、シャッタ部材はシャッタ移動規制部材によりロックされて確実に記録及び／又は再生用開口部を閉塞することができるが、シャッタ移動規制部材は、シャッタ部材とは独立してカートリッジ本体側に取り付けられているため、部品点数が増加するばかりか、組み立ても複雑になってしまう。また、カートリッジ本体内にシャッタ移動規制部材を取り付けるための空間が必要となり、ディスクカートリッジ自体の一層の小型化を図ることが困難となってしまう。

【0009】

【特許文献1】特開平3-212872号公報

【特許文献2】実開昭62-83274号公報

【発明の開示】

【発明が解決しようとする課題】

【0010】

本発明の目的は、上述したような従来のディスクカートリッジが有する問題点を解決することができる新規なディスクカートリッジ及びこのディスクカートリッジを記録媒体に用いるディスク記録及び／又は再生装置を提供することにある。

【0011】

本発明の他の目的は、記録及び／又は再生用開口部を確実に閉塞し、カートリッジ本体に収納したディスク状記録媒体の確実な保護を図ることができるディスクカートリッジを提供することにある。

【0012】

本発明の更に他の目的は、一層の小型化を図ることができるディスクカートリッジを提供することにある。

【0013】

本発明の更に他の目的は、シャッタ部材を記録及び／又は再生用開口部を閉塞した位置にロックする機構を備えながら組み立てが容易なディスクカートリッジを提供することにある。

【課題を解決するための手段】

【0014】

上述のような目的を達成するために提案される本発明に係るディスクカートリッジは、ディスク状記録媒体と、このディスク状記録媒体を回転可能に収納するとともに、ディスク状記録媒体の一部を内外周に亘って外方に臨ませる記録及び／又は再生用開口部が設けられたカートリッジ本体と、記録及び／又は再生用開口部を開閉するシャッタ部を有し、記録及び／又は再生用開口部を閉塞した位置と記録及び／又は再生用開口部を開放した位置との間に亘って移動可能にカートリッジ本体に取り付けられたシャッタ部材と、シャッタ部材の一侧から延長された連結アームと、この連結アームの先端部側に基端部側を固定して連結アームに沿って延長するように取り付けられ、先端部側に、シャッタ部の基端部側に設けられてカートリッジ本体の側面に対向する移動ガイド片に設けた窓部に臨ませられた押圧操作部が設けられ、押圧操作部を窓部からカートリッジ本体の外方に突出させるように付勢力が付与された弾性変位片と、弾性変位片の中途部に設けられ、シャッタ部材が記録及び／又は再生用開口部を閉塞した位置にあるとき、カートリッジ本体に設けた移動規制部に係止してシャッタ部材の記録及び／又は再生用開口部を開放する方向への移動を規制し、弾性変位片が押圧操作部を介してその付勢力に抗して押圧されたとき、この弾性変位片とともに回動してカートリッジ本体に設けた移動規制部への係止を解除する方向に回動するシャッタ移動規制部とを備える。

【0015】

本発明に係るディスクカートリッジにおいて、シャッタ移動規制部は、弾性変位片に一体に設けられている。

【0016】

そして、付勢部材は、シャッタ部材の記録及び／又は再生用開口部を開放する方向に向かってシャッタ部材のから延長されている。

【0017】

また、本発明に係るディスクカートリッジは、シャッタ移動規制部材をシャッタ部材に回動可能に取り付けるようにしてもよい。このディスクカートリッジにおいて、シャッタ移動規制部材は、シャッタ部材が記録及び／又は再生用開口部を閉塞した位置にあるとき、カートリッジ本体に設けた移動規制部に係止部を係止させてシャッタ部材の記録及び／又は再生用開口部を開放する方向への移動を規制し、弾性変位片が押圧操作部を介してその付勢力に抗して押圧されたとき、弾性変位片とともに回動して移動規制部への係止を解除

する方向に回転する。

【0018】

さらに、本発明は、ディスク状記録媒体を回転可能に収納するとともに、ディスク状記録媒体の一部を内外周に亘って外方に臨ませる記録及び／又は再生用開口部が設けられたカートリッジ本体と、記録及び／又は再生用開口部を開閉するシャッタ部を有し、記録及び／又は再生用開口部を閉塞した位置と記録及び／又は再生用開口部を開放した位置との間に亘って移動可能にカートリッジ本体に取り付けられたシャッタ部材と、シャッタ部材の一侧から延長された連結アームと、連結アームの先端部側に基端部側を固定して連結アームに沿って延長するように取り付けられ、先端部側に、シャッタ部の基端部側に設けられてカートリッジ本体の側面に対向する移動ガイド片に設けた窓部に臨ませられた押圧操作部が設けられ、この押圧操作部を窓部からカートリッジ本体の外方に突出させるように付勢力が付与された弾性変位片と、弾性変位片の中途部に設けられ、シャッタ部材が記録及び／又は再生用開口部を閉塞した位置にあるとき、カートリッジ本体に設けた移動規制部に係止してシャッタ部材の記録及び／又は再生用開口部を開放する方向への移動を規制し、弾性変位片が押圧操作部を介してその付勢力に抗して押圧されたとき、弾性変位片とともに回転してカートリッジ本体に設けた移動規制部への係止を解除する方向に回転するシャッタ移動規制部とを備えるディスクカートリッジが着脱自在に装着されるディスク記録及び／又は再生装置において、ディスクカートリッジが、シャッタ部材が移動する一の側面に直交する面側を挿入端として挿入されるカートリッジホルダを備え、カートリッジホルダには、ディスクカートリッジが挿入されるとき、弾性変位片をその付勢力に抗して回転してシャッタ移動規制部のカートリッジ本体に設けた移動規制部への係止を解除し、シャッタ部材を記録及び／又は再生用開口部を開放する方向に移動させるシャッタ開放操作機構が設けられている。

【0019】

さらに、本発明は、上述したカートリッジ本体に設けた記録及び／又は再生用開口部を開閉するシャッタ部材が設けられ、このシャッタ部材を記録及び／又は再生用開口部を閉塞した位置に係止しておくシャッタ移動規制部が設けられたディスクカートリッジが着脱自在に装着されるカートリッジ装着装置に装着されるディスクカートリッジであり、ディスク状記録媒体と、このディスク状記録媒体を回転可能に収納するとともに、ディスク状記録媒体の一部を内外周に亘って外方に臨ませる常時開放された記録及び／又は再生用開口部が設けられたカートリッジ本体とを有し、カートリッジ装着装置に装着されたとき、シャッタ移動規制部を押圧付勢する弾性変位片をその付勢力に抗して回転してシャッタ移動規制部の移動規制部への係止を解除するシャッタ開放操作機構の弾性変位片を押圧操作する押圧操作部を位置させ、シャッタ開放操作機構によるカートリッジ本体に対する負荷を回避するようにした押圧力回避部をカートリッジ本体に設けたものである。

【発明の効果】

【0020】

本発明に係るディスクカートリッジは、カートリッジ本体に設けた記録及び／又は再生用開口部を開閉するシャッタ部材が記録及び／又は再生用開口部を閉塞した位置にあるとき、シャッタ部材の記録及び／又は再生用開口部を開放する方向への移動を規制するシャッタ移動規制部と、このシャッタ移動規制部をカートリッジ本体に設けた移動規制部に係る方向に付勢する弾性変位片をシャッタ部材に設けるようにしているので、記録及び／又は再生用開口部を閉塞した位置にあるシャッタ部材が開放方向に移動することを規制し、記録及び／又は再生用開口部を確実に閉塞し、カートリッジ本体に収納したディスク状記録媒体の確実な保護を図ることができる。

【0021】

また、本発明に係るディスクカートリッジは、記録及び／又は再生用開口部を開閉するシャッタ部材に、シャッタ移動規制部とこのシャッタ移動規制部をカートリッジ本体に設けた移動規制部に係止する方向に付勢する付勢部材とを設けるようにしているので、部品点数の削減を図ることができ、更に、シャッタ移動規制部を配置するための空間を設ける

必要がなくなるので、ディスクカートリッジ自体の一層の小型化を実現できる。

【0022】

また、本発明に係るディスクカートリッジを記録媒体に用いるディスク記録及び／又は再生装置は、ディスクカートリッジが、シャッタ部材が移動する一の側面に直交する面側を挿入端として挿入されるカートリッジホルダに挿入されるとき、シャッタ部材の移動ガイド片に設けた窓部に、シャッタ開放操作機構のシャッタ開放操作部が進入して弾性変位片を押圧し、シャッタ移動規制部がカートリッジ本体側に設けた移動規制部に係止しない位置となるように弾性変位させることができるので、シャッタ開放操作機構は、板バネの一端にシャッタ開放操作部を設けた簡単な構成のもので足り、装置自体の構成を簡素化でき、装置自体の小型化を図ることも容易となる。

【0023】

さらに、本発明に係るディスクカートリッジは、記録及び／又は再生用開口部を開閉するシャッタ部材が設けられ、このシャッタ部材を閉塞位置に保持しておく機構が設けられたディスクカートリッジが装着されるカートリッジ装着装置に装着した場合にも、シャッタ開放操作機構からの負荷を受けることなく安定した状態で装着することができる。

【発明を実施するための最良の形態】

【0024】

以下、本発明に係るディスクカートリッジ及びこのディスクカートリッジを記録媒体に用いるディスク記録及び／又は再生装置を図面を参照して説明する。

【0025】

まず、本発明に係るディスクカートリッジ1を説明すると、本発明に係るディスクカートリッジ1は、ディスク状記録媒体として、例えば、光ディスク2を回転可能に収納したものであって、図1及び図2に示すように、上下一対のハーフ3、4を突き合わせ結合したカートリッジ本体5を備え、このカートリッジ本体5内に光ディスク2を回転可能に収納している。

【0026】

本発明に係るディスクカートリッジ1は、例えばテレビジョンゲームを実行するプログラムデータやビデオデータが記録された光ディスク2を収納したものであり、しかも、極めて小型に構成されている。このディスクカートリッジ1は、例えば、直径を60mm程度とする小径の光ディスク2を収納したものであって、片手の掌に収納し得る程度の大きさに形成されている。

【0027】

このディスクカートリッジ1を構成するカートリッジ本体5は、図1乃至図3に示すように、このディスクカートリッジ1が装脱されるディスク記録及び／又は再生装置への挿入端側となる一の側面である前面側を円弧状部7として形成している。この円弧状部7は、図2に示すように、カートリッジ本体5のディスク収納部6に収納された光ディスク2の中心を中心P₀として半径R₁を一定にしたほぼ半円の円弧状に形成されている。すなわち、円弧状部7は、カートリッジ本体5に収納された光ディスク2の半円に相当する部分と対向するような半円として形成されている。

【0028】

カートリッジ本体5の円弧状部7に連続する相対向する側面は、互いに平行な側面8、9として形成され、円弧状部7と対向する背面側は、なだらかに湾曲して連続する湾曲部10として形成されている。すなわち、カートリッジ本体5の背面側は、カートリッジ本体5の前面側に構成された半円状の円弧状部7より大きな半径である円弧状部7より曲率が小さい湾曲部10とされている。

【0029】

本発明に係るディスクカートリッジ1は、挿入端側となる一の側面である前面を他の面に比し大きく湾曲したほぼ半円の円弧状部7としているので、カートリッジ挿脱口を介してスロットイン方式により装脱が行われるディスク記録及び／又は再生装置へ挿入への挿入を容易に判別できる。特に、掌内に収納できる程度に小型化したディスクカートリッジ

1 にあっては、手で握った感覚でも挿入方向の識別を行うことができるので、誤挿入を防止して正確にディスク記録及び／又は再生装置に装着することも可能となる。しかも、このディスクカートリッジ 1 は、後述するように、スロットイン方式のディスク記録及び／又は再生装置へ挿入操作が容易となるばかりか、確実な挿入操作を実現できる。

【0030】

更に、本発明に係るディスクカートリッジ 1 は、挿入端側をほぼ半円の円弧状部 7 とし、更に加えて円弧状部 7 と対向する背面も湾曲部 10 としているので、収納する光ディスク 2 に対し一層の小型化が実現されている。

【0031】

そして、本発明に係るディスクカートリッジ 1 は、カートリッジ本体 5 の下面側を構成する下ハーフ 4 の中央部には、図 2 及び図 3 に示すように、カートリッジ本体 5 に収納した光ディスク 2 の中心部に形成したセンター穴 11 及びその周縁を外方に臨ませる円形の駆動部用開口部 12 が形成されている。駆動部用開口部 12 は、ディスクカートリッジ 1 が装着されるディスク記録及び／又は再生装置側に設けられたディスク回転駆動機構の一部を構成する例えばターンテーブルが進入する。すなわち、駆動部用開口部 12 は、光ディスク 2 を回転駆動させるための機構の一部が進入する開口部として機能する。

【0032】

また、下ハーフ 4 には、図 2 及び図 3 に示すように、記録及び／又は再生用開口部を構成するヘッド部用開口部 13 が形成されている。ヘッド部用開口部 13 は、カートリッジ本体 5 の一方の側面 8 側に位置し、駆動部用開口部 12 に近接した位置から側面 8 に亘って矩形状に形成されている。すなわち、ヘッド部用開口部 13 は、カートリッジ本体 5 に収納された光ディスク 2 の信号記録領域の一部を内外周に亘って外方に臨ませる足る大きさの矩形状に形成されている。ここで、ヘッド部用開口部 13 は、図 2 に示すように、一方の側面 8 に位置する側を開放して形成されている。このように、ヘッド部用開口部 13 の側面 8 側が開放されることにより、光ディスク 2 の最外周位置までヘッド部の走査領域とすることができるので、光ディスク 2 の信号記録領域を大きくでき、光ディスク 2 の記録容量を大きくすることができる。また、ヘッド部用開口部 13 は、駆動部用開口部 12 に連続することなく、駆動部用開口部 12 との間に接続部を残して形成されているので、下ハーフ 4 の機械的強度を維持することができる。

【0033】

下ハーフ 4 に突き合わせ結合されてカートリッジ本体 5 の上面側を構成する上ハーフ 3 の光ディスク 2 と対向する面は、図 1 に示すように、開口部等が設けられることなく平坦な面とされている。

【0034】

カートリッジ本体 5 の周面を構成する外周壁 15 は、上下ハーフ 3, 4 の突き合わせ面側に形成した立ち上がり周壁 16, 17 を突き合わせることによって形成される。

【0035】

また、下ハーフには、図 2 及び図 3 に示すように、このディスクカートリッジ 1 をディスク記録及び／又は再生装置に装着したとき、装置側に設けた位置決めピンに係合する第 1 及び第 2 の位置決め孔 18, 19 が設けられている。なお、第 1 及び第 2 の位置決め孔 18, 19 は、円形に形成されたディスク収納部 6 と湾曲部 10 とにより囲まれた左右の各領域にそれぞれ設けられている。

【0036】

上述のように構成されたカートリッジ本体 5 には、図 1 乃至図 3 に示すように、ヘッド部用開口部 13 を開閉するシャッタ部材 21 が取り付けられる。このシャッタ部材 21 は、薄い金属板を打ち抜き折り曲げて形成され、若しくは合成樹脂材料を成型して形成されたものであって、図 2 及び図 3 及びに示すように、ヘッド部用開口部 13 を閉塞する足るに大きさの矩形状に形成した平板状のシャッタ部 22 と、このシャッタ部 22 の基板部側に形成された断面コ字状に形成されたカートリッジ支持部 23 とを備える。シャッタ部 22 の先端部には、カートリッジ本体 5 側に取り付けられるシャッタガイド部材 26 により

支持されるガイド支持部 24 が設けられている。ガイド支持部 24 は、図 4 及び図 5 に示すように、シャッタ部 22 の先端部をカートリッジ本体 5 側に向かうように折り曲げて形成されている。

【0037】

ところで、シャッタ部材 21 は、カートリッジ本体 5 を構成する上ハーフ 3 側に形成されたスライドガイド部 25 をカートリッジ支持部 23 により支持することによってヘッド部用開口部 13 を開閉する図 1 及び図 2 中矢印 A 方向又は矢印 B 方向に移動可能に支持される。

【0038】

シャッタ部材 21 が支持されるスライドガイド部 25 は、図 4 に示すように、ヘッド部用開口部 13 を開閉するシャッタ部材 21 の移動範囲に亘って上ハーフ 3 に形成されている。このスライドガイド部 25 は、上ハーフ 3 に形成される立ち上がり周壁 16 の一部に形成されており、シャッタ部材 21 をカートリッジ本体 5 の一方の側面 8 の範囲内で支持するように形成されている。

【0039】

そして、シャッタ部材 21 に設けられるカートリッジ支持部 23 は、図 4 及び図 5 に示すように、シャッタ部 22 の基端部から垂直に立ち上がり形成され移動ガイド片 28 を有し、この移動ガイド片 28 の先端部にシャッタ部 22 側に向かって折り曲げられた一対の第 1 の支持片 29、29 が形成されている。また、移動ガイド片 28 の一方の側には、第 1 の支持片 29、29 が形成された位置より一段低い位置で L 字状に折り曲げられた第 2 の支持片 30 が設けられている。第 2 の支持片 30 は、第 1 の支持片 29、29 共にスライドガイド部 25 を挟持するように支持する。この第 2 の支持片 30 の先端部には、第 1 の支持片 29 側に突出するように係合片 31 が折り曲げ形成されている。

【0040】

また、移動ガイド片 28 の他方の側には、第 2 の支持片 30 と同一の高さ位置に位置されて、シャッタ部 22 側に向かって突出するように折り曲げられた折り曲げ片 32 が形成されている。この折り曲げ片 32 は、第 2 の支持片 30 と同様に、第 1 の支持片 29、29 とともにスライドガイド部 25 を挟持するように支持する支持片として機能する。折り曲げ片 32 の一部側には、第 1 の支持片 29 側に向かって突出するように折り曲げられた係合片 33 が形成されている。

【0041】

そして、シャッタ部材 21 のカートリッジ支持部 23 を構成する移動ガイド片 28 の一側から、図 4 及び図 5 に示すように、連結アーム 35 が延長されている。すなわち、連結アーム 35 は、図 6 に示すように、シャッタ部材 21 がカートリッジ本体 5 に取り付けられたとき、ヘッド部用開口部 13 を開放する方向に移動する側に位置する移動ガイド片 28 の一側から延長するように形成されている。また、連結アーム 35 は、シャッタ部材 21 がカートリッジ本体 5 に取り付けられたとき、円弧状のディスク収納部 6 の外周面に沿って延在するように湾曲しながら移動ガイド片 28 の一側から延長されている。すなわち、連結アーム 35 は、シャッタ部 22 のガイド支持部 24 が設けられた先端側に向かって湾曲しながら延長されている。

【0042】

そして、連結アーム 35 の先端部側には、図 6 に示すように、基端部側を固定して連結アーム 35 に沿って延長するようにして弾性変位片 36 が連結されている。弾性変位片 36 は、基板部側を連結アーム 35 の先端部に溶着若しくは接着等の方法を用いて接合して連結される。このとき、連結アーム 35 は、基端部側の折り曲げ部 36a を連結アーム 35 の先端部に突き当て、連結アーム 35 に対する位置決めが図られている。

【0043】

また、弾性変位片 36 は、図 6 及び図 7 に示すように、シャッタ部 22 の基端部側に設けられてカートリッジ本体 5 の一側面に対向する移動ガイド片 28 に設けた窓部 38 に至る長さを有するように形成され、窓部 38 に臨む先端側に押圧操作部 39 が設けられてい

る。押圧操作部 39 は、本発明に係るディスクカートリッジ 1 がディスク記録及び／又は再生装置に装着されるとき、記録及び／又は再生装置側に設けられたシャッタ開放操作機構の一部であるシャッタ開放操作部によって押圧操作される部分である。

【0044】

更に、弾性変位片 36 は、先端部側が移動ガイド片 28 の内面に圧接しながら押圧操作部 39 が窓部 38 から突出するような付勢力が付与されるように連結アーム 35 に連結されている。すなわち、弾性変位片 36 は、連結アーム 35 に連結された基端部側から湾曲しながら移動ガイド片 28 に向かって延長され、先端部側が移動ガイド片 28 の内面に圧接にされることにより図 6 中矢印 C 方向の付勢力が付与されている。

【0045】

なお、弾性変位片 36 の移動ガイド片 28 に沿う部分は、移動ガイド片 28 と平行に延長する直線部 36b とされている。

【0046】

そして、弾性変位片 36 の中途部には、図 6 及び図 7 に示すように、シャッタ移動規制部 41 が一体に設けられている。シャッタ移動規制部 41 は、弾性変位片 36 の直線部 35b の基端部側に位置して設けられ、弾性変位片 36 の一側から突設した突片の先端部を L 字状に折り曲げて形成されている。L 字状に折り曲げられた先端部は、後述するように、シャッタ部材 21 がカートリッジ本体 5 に取り付けられたとき、カートリッジ本体 5 側に設けられる移動規制部 45 に当接するなどして係止することによって、ヘッド部用開口部 13 を閉塞した位置にあるシャッタ部材 21 がヘッド部用開口部 13 を開放する方向に移動することを規制する係止部 42 となる。

【0047】

ところで、シャッタ移動規制部 41 は、押圧操作部 39 が押圧され、弾性変位片 36 が図 6 中矢印 D 方向に回転するように弾性変位されると、弾性変位片 36 と一体に回転し、係止部 42 をカートリッジ本体 5 側に設けられる移動規制部 45 に対し係止する位置から移動させ、シャッタ部材 21 がヘッド部用開口部 13 を開放する方向に移動可能とする。

【0048】

なお、弾性変位片 36 は、本発明に係るディスクカートリッジ 1 がディスク記録及び／又は再生装置に装着されるとき、記録及び／又は再生装置側に設けられたシャッタ開放操作機構の一部であるシャッタ開放操作部によって押圧操作部 39 が押圧操作されることにより、図 6 中矢印 D 方向に回転するように弾性変位する。

【0049】

上述のように構成されたシャッタ部材 21 は、カートリッジ支持部 23 によりスライドガイド部 25 を支持してカートリッジ本体 5 に移動可能に取り付けられる。

【0050】

ところで、シャッタ部材 21 を移動可能に支持するスライドガイド部 25 は、図 4 及び図 8 に示すように、上ハーフ 3 に設けられた立ち上がり周壁 16 の一部に形成されている。このスライドガイド部 25 は、図 8 に示すように、シャッタ部材 21 の移動方向と平行に立ち上がり周壁 16 の外側面に形成されたガイド溝 51 と、第 1 及び第 2 の支持片 29、30 とによって挟持されるように支持されるガイドレール部 52 とから構成されている。

【0051】

そして、ガイドレール部 52 の外方側に臨む面は、上ハーフ 3 の平面に垂直な面とされている。この面は、スライドガイド部 25 を構成する移動ガイド片 28 の内側面と対向して、シャッタ部材 21 の移動方向をガイドする第 1 のガイド壁 53 を構成している。また、ガイドレール部 52 の内方側に臨む面は、第 1 のガイド壁 53 と平行な面とされている。この面は、第 2 の支持片 30 及び折り曲げ片 32 と対向して、シャッタ部材 21 の移動方向をガイドする第 2 のガイド壁 54 を構成している。更に、レール部 52 の先端面は、第 1 及び第 2 のガイド壁 53、54 に垂直な面とされている。この面は、第 2 の支持片 30 及び折り曲げ片 32 と対向して、シャッタ部材 21 の移動方向をガイドする第 3 のガイ

ド壁 55 を構成している。更に、レール部 52 の第 1 のガイド壁 54 から第 2 のガイド壁 55 に亘る先端側のコーナ部は傾斜面部 56 とされている。この傾斜面部 56 は、シャッタ部材 21 に設けた係合片 31, 33 をレール部 52 の第 2 のガイド壁 54 側に係合される際の逃げ部として機能する。

【0052】

このように構成されたスライドガイド部 25 にシャッタ部材 21 を支持するには、シャッタ部 22 を下ハーフ 4 に設けたヘッド部用開口部 13 上に延在するように配置し、次いで、カートリッジ支持部 23 をスライドガイド部 25 に係合させる。そして、カートリッジ支持部 23 をスライドガイド部 25 に支持させるには、まず、第 1 の支持片 29 をガイド溝 51 に係合し、次いで、係合片 31, 33 を傾斜面部 56 に沿わせながら、ガイドレール部 52 の第 2 のガイド壁 54 側に臨ませる。このように、第 1 の支持片 29 をガイド溝 51 に係合し、係合片 31, 33 を第 2 のガイド壁 54 側に臨ませることにより、シャッタ部材 21 は、図 8 に示すように、第 1 の支持片 29 と第 2 の支持片 30 及び折り曲げ片 32 一部によりガイドレール部 52 を挟持するようにして上ハーフ 3 に移動可能に支持される。

【0053】

このとき、スライドガイド部 25 は、移動ガイド片 28 が第 1 のガイド壁 53 に対向し、係合片 31, 33 が第 2 のガイド壁 54 に対向し、第 2 の支持片 30 及び折り曲げ片 32 が第 3 のガイド壁 55 に対向するので、シャッタ部材 21 の移動方向及びこの移動方向と直交するカートリッジ本体 5 の厚さ方向の移動が規制される。その結果、シャッタ部材 21 は、大きなガタ付を発生させることなく、スライドガイド部 25 に安定した状態でガイドされて移動可能となる。

【0054】

また、シャッタ部材 21 は、カートリッジ本体 5 に取り付けられたとき、シャッタ部 22 の先端側に設けたガイド支持部 24 が、図 2 に示すように、シャッタガイド部材 26 により支持されるので、シャッタ部 22 のカートリッジ本体 5 からの浮き上がりが防止でき、シャッタ部材 21 の安定した移動を実現できる。

【0055】

上述のように、カートリッジ本体 5 に取り付けられたシャッタ部材 21 は、ガイドレール部 52 にガイドされて、図 3 に示すように記録及び／又はヘッド部用開口部 13 を閉塞した位置と、図 2 に示す記録及び／又はヘッド部用開口部 13 を開放した位置との間に亘って移動する。

【0056】

なお、本発明に係るディスクカートリッジ 1 において、シャッタ部材 21 は、カートリッジ本体 5 の外周面から少なくとも突出しないように取り付けられる。具体的には、シャッタ部材 21 は、カートリッジ本体 5 の外周面との面一となるように取り付けられる。すなわち、下ハーフ 4 側のシャッタ部 22 が移動する領域には、図 2 及び図 3 に示すように、凹状のシャッタスライド用凹部 58 が形成されている。シャッタスライド用凹部 58 は、シャッタ部 22 をカートリッジ本体 5 の表面から突出させないに足る深さをもって形成されている。また、カートリッジ支持部 23 の移動ガイド片 28 が移動するカートリッジ本体 5 の一方の側面 8 側にも、シャッタスライド用凹部 58 に連続するガイド片用凹部 59 が形成されている。このガイド片用凹部 59 も、移動ガイド片 28 をカートリッジ本体 5 の表面から突出させないに足る深さをもって形成されている。

【0057】

また、シャッタ部材 21 は、図 3 に示すように、記録及び／又はヘッド部用開口部 13 を閉塞する位置に移動されたとき、シャッタ部 22 の一側がシャッタスライド用凹部 58 の立ち上がり面に当接し、更なる閉塞方向への移動が規制される。

【0058】

上述のようにカートリッジ本体 5 に移動可能に取り付けられたシャッタ部材 21 は、ヘッド部用開口部 13 を閉塞した位置に移動されたとき、図 9 に示すように、弾性変位片 3

6 に設けたシャッタ移動規制部 4 1 に設けた係止部 4 2 がカートリッジ本体 5 側に設けた移動規制部 4 5 に対向する。そして、シャッタ部材 2 1 がヘッド部用開口部 1 3 を開放する図 9 中矢印 A 方向へ移動しようとする、係止部 4 2 がカートリッジ本体 5 側に設けた移動規制部 4 5 に当接してシャッタ部材 2 1 の移動を規制し、シャッタ部 2 2 によりヘッド部用開口部 1 3 を閉塞した状態を維持する。

【0059】

なお、移動規制部 4 5 は、図 9 に示すように、上ハーフ 3 に設けられたガイドレール部 5 2 の一部を切り欠くことによって形成されている。

【0060】

そして、ヘッド部用開口部 1 3 を閉塞した位置にあって移動が規制されたシャッタ部材 2 1 を移動してヘッド部用開口部 1 3 を開放するためには、例えば、ディスク記録及び／又は再生装置のカートリッジホルダ側に設けられたシャッタ開放操作機構のシャッタ開放操作部を窓部 3 8 に進入させ、押圧操作部 3 9 を押圧して弾性変位片 3 6 を図 10 中矢印 D 方向に弾性変位させる。弾性変位片 3 6 が図 10 中矢印 D 方向に弾性変位すると、シャッタ移動規制部 4 1 も弾性変位片 3 6 と一体に図 10 中矢印 D 方向に回動し、係止部 4 2 がカートリッジ本体 5 側の移動規制部 4 5 に対向しない状態となる。その結果、シャッタ部材 2 1 は、移動規制部 4 5 により移動規制が解除された状態となって、ヘッド部用開口部 1 3 を開放する図 10 中矢印 A 方向の移動が可能な状態となる。

【0061】

上述したように、本発明に係るディスクカートリッジ 1 は、ヘッド部用開口部 1 3 を閉塞位置にあるシャッタ部材 2 1 の開放方向への移動が規制されているので、カートリッジ本体 5 に収納した光ディスクの確実な保護を図ることができる。

【0062】

また、本発明に係るディスクカートリッジ 1 は、シャッタ部材 2 1 に、このシャッタ部材 2 1 がヘッド部用開口部 1 3 を開放する方向に移動してしまうことを規制するシャッタ移動規制部 4 1 を設けた弾性変位片 3 6 を取り付けようとしているので、部品点数の削減を図ることができ、更に、シャッタ移動規制部 4 1 をシャッタ部材 2 1 に取り付けられる弾性変位片 3 6 に一体に設けるようにしているので、カートリッジ本体 5 内にシャッタ移動規制部 4 1 を配置するための空間を設ける必要がなくなり、ディスクカートリッジ 1 自体の一層の小型化が実現される。

【0063】

なお、上述した説明で、シャッタ移動規制部 4 1 は、係止部 4 2 を移動規制部 4 5 に当接させてシャッタ部材 2 1 の移動を規制するようにしているが、移動規制部 4 5 を凹状の溝部を有するものとなし、この溝部に係止部 4 2 を係合することによって、シャッタ部材 2 1 の移動を規制するようにしてもよい。すなわち、係止部 4 2 と移動規制部 4 5 とが相対係合するような構成を採用してもよい。

【0064】

次に、本発明に係るディスクカートリッジ 1 を記録媒体に用いるディスク記録及び／又は再生装置への装着に関連してシャッタ部材 2 1 を移動操作してヘッド部用開口部 1 3 を開閉する状態を説明する。

【0065】

本発明に係るディスクカートリッジ 1 を記録媒体に用いるディスク記録及び／又は再生装置の一例を示す。このディスク記録及び／又は再生装置は、図 11 に示すように構成されたディスクドライブ部 7 1 を備える。ディスクドライブ部 7 1 は、装置本体を構成する筐体内に配設されるものであって、矩形状に形成されたベース 7 2 を備える。このベース 7 2 には、このディスク記録及び／又は再生装置に装着されるディスクカートリッジ 1 に収納された光ディスク 2 を回転駆動するためのディスク回転駆動機構 7 3 が取り付けられている。このディスク回転駆動機構 7 3 は、光ディスク 2 が装着されるターンテーブル 7 4 をベース 7 2 の上面に突出するようにしてベース 7 2 に取り付けられている。

【0066】

また、ベース 72 には、ディスク回転駆動機構 73 に装着されて回転駆動される光ディスク 2 の信号記録領域を走査して、この光ディスク 2 に記録された情報信号の読み出しを行う光ヘッド部 75 が取り付けられている。

【0067】

なお、ディスクドライブ部 71 が情報信号の記録及び再生を可能とするものとして構成されている場合には、光ヘッド部 75 は、記録再生型のものが用いられる。

【0068】

光ヘッド部 75 は、図示しないが、支持機構を介してディスク回転駆動機構 73 に装着された光ディスク 2 の内外周に移動するように支持され、駆動モータを備えた送り機構により、光ディスク 2 の内外周に亘って送り操作される。

【0069】

そして、ベース 72 の上面側にはカートリッジ装着部 76 が構成されている。カートリッジ装着部 76 には、一对の位置決めピン 77、78 が設けられる共に、図示しない一对の支持ピンが設けられている。カートリッジ装着部 76 上に装着されるディスクカートリッジ 1 は、第 1 及び第 2 の位置決め孔 18、19 をそれぞれ一对の位置決めピン 77、78 に係合し、支持ピンによって支持されることにより、水平方向及び高さ方向の位置決めが図られる。

【0070】

また、ベース 72 のカートリッジ装着部 76 が構成された上面側には、ディスクカートリッジ 1 を保持し、このディスクカートリッジ 1 をカートリッジ装着部 76 に装脱するカートリッジホルダ 81 が設けられている。カートリッジホルダ 81 は、上述したディスクカートリッジ 1 を保持するに足る大きさを有する矩形状に形成され、天板 82 の相対向する両側には断面 L 字状に形成したカートリッジ支持部 83、84 が設けられている。このカートリッジホルダ 81 の開放された前面側は、カートリッジ挿脱口 85 とされている。本発明に係るディスクカートリッジ 1 は、前面側の円弧状部 7 を挿入端として、カートリッジ挿脱口 85 からカートリッジホルダ 81 に挿脱される。

【0071】

このカートリッジホルダ 81 は、カートリッジ挿脱口 85 が設けられた前面側に対向する背面側の両側に設けた支軸 86 を介してベース 72 に回動可能に支持されている。

【0072】

カートリッジホルダ 81 に対するディスクカートリッジ 1 の挿脱は、ベース 72 の上方側に回動させた状態で行われる。そして、カートリッジホルダ 81 は、ディスクカートリッジ 1 が挿入保持された状態でベース 72 側に回動されることにより、このディスクカートリッジ 1 をカートリッジ装着部 76 に位置決めして装着する。

【0073】

ところで、カートリッジホルダ 81 には、このカートリッジホルダ 81 にディスクカートリッジ 1 が挿入される際、シャッタ部材 21 を移動操作してヘッド部用開口部 13 を開放操作するシャッタ開放操作機構 91 が設けられている。シャッタ開放操作機構 91 は、図 12 に示すように、一方のカートリッジ支持部 83 の外方側の側面に基端部 92a を固定した長尺な板バネ 92 を取り付け、この板バネ 92 の先端側にカートリッジホルダ 81 内に突出するシャッタ開放操作部 93 を設けて構成されている。このシャッタ開放操作部 93 は、板バネ 92 の先端側の一部を折り返して形成されている。また、シャッタ開放操作部 93 は、一方のカートリッジ支持部 83 の側面に形成した切り欠き部 83a を介してカートリッジホルダ 81 内に突出している。

【0074】

シャッタ開放操作機構 91 は、カートリッジホルダ 81 にディスクカートリッジ 1 が挿入されるとき、シャッタ部材 21 に設けた窓部 38 に進入し、押圧操作部 39 を押圧して弾性変位片 36 を図 10 中矢印 D 方向に回動させ、移動規制部 45 にシャッタ移動規制部 41 の係止部 42 が当接しないようにして、シャッタ部材 21 をヘッド部用開口部 13 を開放する方向に移動操作する。

【0075】

上述したようなシャッタ開放操作機構 91 を備えたカートリッジホルダ 81 に本発明に係るディスクカートリッジ 1 が挿入されることにより、シャッタ部材 21 が移動操作され、ヘッド部用開口部 13 が開放される状態を更に具体的に説明する。

【0076】

円弧状部 7 側を挿入端として、ディスクカートリッジ 1 をカートリッジホルダ 81 に挿入していくと、図 12 に示すように、シャッタ開放操作部 93 がシャッタ部材 21 の移動ガイド片 28 上に乗り上げていく。このとき、板バネ 92 は、シャッタ開放操作部 93 が移動ガイド片 28 により押圧されることにより、シャッタ開放操作部 93 をカートリッジホルダ 81 の外方に逃がすように、図 12 中矢印 E 方向に弾性変位される。

【0077】

図 12 に示す状態から更にディスクカートリッジ 1 を図 12 中矢印 G 方向のカートリッジホルダ 81 の内方に挿入していき、シャッタ開放操作部 93 が移動ガイド片 28 に設けた窓部 38 に対向する位置に至ると、弾性変位されていた板バネ 92 が、図 13 中矢印 F 方向に弾性復帰し、先端側のシャッタ開放操作部 93 が窓部 38 内に進入する。窓部 38 に進入したシャッタ開放操作部 93 は、押圧操作部 39 を押圧して弾性変位片 36 を図 13 中矢印 D 方向に弾性変位させる。弾性変位片 36 が図 13 中矢印 D 方向に弾性変位すると、シャッタ移動規制部 41 が同方向に回転し、係止部 42 が移動規制部 45 に対向しない状態となる。その結果、シャッタ部材 21 は、カートリッジ本体 5 側の移動規制部 45 により移動規制が解除された状態となる。このとき、シャッタ部材 21 は、窓部 38 にシャッタ開放操作部 93 が係合された状態におかれる。この状態から更にディスクカートリッジ 1 をカートリッジホルダ 81 の内方に挿入すると、カートリッジ本体 5 がシャッタ部材 21 に対し相対移動し、図 13 に示すように、ヘッド部用開口部 13 が開放されていく。そして、ディスクカートリッジ 1 が、カートリッジホルダ 81 の所定の挿入位置まで挿入されると、ヘッド部用開口部 13 の全部が開放された状態となる。

【0078】

ところで、シャッタ開放操作部 93 は、ディスクカートリッジ 1 がカートリッジホルダ 81 に挿入された状態にあるとき、窓部 38 に係合した状態を維持するので、シャッタ部材 21 は、ヘッド部用開口部 13 を開放した位置に保持される。

【0079】

このようにヘッド部用開口部 13 が開放されたカートリッジホルダ 81 に挿入されたディスクカートリッジは、カートリッジホルダ 81 がカートリッジ装着部 76 側に回転されることにより、上述したようにカートリッジ装着部 76 に位置決めして装着される。

【0080】

ディスクカートリッジ 1 がカートリッジ装着部 76 に装着されることにより、ディスクカートリッジ 1 に収納された光ディスク 2 は、ターンテーブル 74 に装着され、ディスク回転駆動機構 73 によって回転駆動可能な状態となる。このとき、開放されたヘッド部用開口部 13 を介して光ヘッド部 75 が光ディスク 2 に対向する。この状態でディスク回転駆動機構 73 を駆動し、光ヘッド部 75 を動作させることにより、光ディスク 2 に記録された情報信号の再生が可能となる。

【0081】

そして、カートリッジ装着部 76 に装着されたディスクカートリッジ 1 をイジェクトするには、光ディスク 2 の再生動作を停止し、ディスク記録及び／又は再生装置に設けられたイジェクト機構を操作し、カートリッジホルダ 81 をカートリッジ装着部 76 から離間したベース 72 から上昇した位置に回転させると、ディスクカートリッジ 1 の背面側がカートリッジ挿脱口 85 から突出する。カートリッジ挿脱口 85 から突出した部分を把持してディスクカートリッジ 1 をカートリッジホルダ 81 から引き出すと、シャッタ開放操作機構 91 により保持されているシャッタ部材 21 に対しカートリッジ本体 5 が相対移動し、シャッタ部材 21 がヘッド部用開口部 13 を閉塞した位置に移動する。ここから更にディスクカートリッジ 1 をカートリッジホルダ 81 から引き出すと、シャッタ開放操作部 9

3が窓部38から離脱し、押圧操作部39の押圧を解除する。押圧操作部39の押圧が解除された弾性変位片36は、自身の付勢力により弾性復帰する。そして、シャッタ移動規制部41は、弾性変位片36とともに回転し、係止部42をカートリッジ本体5側に設けた移動規制部45に当接させてシャッタ部材21の移動を規制する状態となし、シャッタ部22によりヘッド部用開口部13を閉塞した状態を維持するようになる。

【0082】

このように、本発明に係るディスクカートリッジ1を用いるディスク記録及び／又は再生装置は、シャッタ開放操作機構91として、板バネ92の一端にシャッタ開放操作部93を設けた簡単な構成のものを用いるので足りるので、装置自体の構成を簡素化でき、装置自体の小型化を図ることも容易となる。

【0083】

上述したディスクカートリッジ1は、シャッタ部材21がヘッド部用開口部13を閉塞した位置にあるとき、ヘッド部用開口部13を開放する方向へ移動することを規制するシャッタ移動規制部41を弾性変位片36に一体に設けるようにしているが、弾性変位部36とは独立してシャッタ部材21に設けるようにしてもよい。

【0084】

そこで、ヘッド部用開口部13を閉塞した位置にあるシャッタ部材21の開放方向への移動を規制するシャッタ移動規制部材101をシャッタ部材21に設けた例を図14及び図15を参照して説明する。

【0085】

なお、前述したディスクカートリッジ1と共通する部分には、共通の符号を付して詳細な説明は省略する。

【0086】

本例のディスクカートリッジ100に用いられるシャッタ移動規制部材101は、図14及び図15に示すように、薄板状の金属板を打ち抜き折り曲げて形成されたものであって、一端側に押圧操作部102が設けられ、他端側に係止部103が設けられている。押圧操作部102は、シャッタ移動規制部材101の一端側の一侧をほぼ垂直に折り曲げることによって形成されている。この押圧操作部102は、本発明に係るディスクカートリッジ1がディスク記録及び／又は再生装置に装着されるとき、記録及び／又は再生装置側に設けられたシャッタ開放操作機構の一部であるシャッタ開放操作部によって押圧操作される。

【0087】

なお、本例のディスクカートリッジ100においては、弾性変位部36の先端側に設けられる押圧操作部39は、シャッタ移動規制部材101を押圧操作する部分となる。

【0088】

また、係止部103は、シャッタ移動規制部材101の他端側の一侧をほぼ垂直に折り曲げることによって形成される。この係止部103は、後述するように、シャッタ部材21がカートリッジ本体5に取り付けられたとき、カートリッジ本体5側に設けられる係止部に係止し、ヘッド部用開口部13を閉塞した位置にあるシャッタ部材21がヘッド部用開口部13を開放する方向に移動することを規制する。

【0089】

そして、シャッタ移動規制部材101は、図16及び図17に示すように、シャッタ部材21をカートリッジ本体5に取り付けたとき、カートリッジ本体5の一方の側面8に対向する移動ガイド片28に設けた窓部38に押圧操作部102を臨ませて折り曲げ片32に取り付けられる。このとき、他端側に設けた係止部103は、シャッタ部材21の折り曲げ片32が設けられた他方の側から突出するように位置される。

【0090】

また、シャッタ移動規制部材101は、折り曲げ片32の中央部にバーリング加工を施して形成した筒状の突出部104に、中央部に穿設した貫通孔105を挿通し、突出部104の先端を押し潰し変形するカシメ加工を施すことによって、突出部104を中心にし

て回動可能に折り曲げ片 32 に取り付けられる。

【0091】

そして、シャッタ移動規制部材 101 は、押圧操作部 102 を移動ガイド片 28 と弾性変位片 36 との間に位置させて折り曲げ片 32 に取り付けられることにより、押圧操作部 102 の背面側が弾性変位片 36 により押圧されることになり、この押圧操作部 102 が窓部 38 から突出する方向の図 16 中矢印 C 方向に回動付勢された状態に置かれる。シャッタ移動規制部材 101 は、押圧操作部 102 が弾性変位部 36 の付勢力に抗して押圧されることにより、突出部 104 を中心にして図 16 中矢印 D 方向に回動される。

【0092】

なお、押圧操作部 102 の押圧操作は、本発明に係るディスクカートリッジ 100 が記録媒体として用いられるディスク記録及び／又は再生装置のカートリッジホルダに、このディスクカートリッジ 100 が挿入されるとき、カートリッジホルダ側に設けられたシャッタ開放操作機構のシャッタ開放操作部が窓部 38 に進入することによって行われる。

【0093】

上述したように、シャッタ部材 21 に回動可能に取り付けられたシャッタ移動規制部材 101 は、シャッタ部材 21 がヘッド部用開口部 13 を閉塞した位置に移動されたとき、図 9 に示すように、シャッタ移動規制部材 101 に設けた係止部 103 がカートリッジ本体 5 側に設けた移動規制部 61 に対向する。そして、シャッタ部材 21 がヘッド部用開口部 13 を開放する図 18 中矢印 A 方向へ移動しようとするとき、係止部 103 がカートリッジ本体 5 側に設けた移動規制部 61 に当接してシャッタ部材 21 の移動を規制し、シャッタ部 22 によりヘッド部用開口部 13 を閉塞した状態を維持する。

【0094】

なお、移動規制部 61 は、図 18 に示すように、下ハーフ 4 の内面に突設した突出片により構成されている。本例においては、移動規制部 61 は、ディスク収納部 6 を構成する円弧状の周壁 6a のヘッド部用開口部 13 に臨む一端側に連続して形成されている。

【0095】

そして、ヘッド部用開口部 13 を閉塞した位置にあって移動が規制されたシャッタ部材 21 を移動してヘッド部用開口部 13 を開放するためには、例えば、ディスク記録及び／又は再生装置のカートリッジホルダ側に設けられたシャッタ開放操作機構のシャッタ開放操作部が窓部 38 に進入させ、押圧操作部 39 を押圧してシャッタ移動規制部 41 を図 19 中矢印 D 方向に回動させる。シャッタ移動規制部材 101 が図 19 中矢印 D 方向に回動すると、係止部 103 がカートリッジ本体 5 の一方の側面 8 側に移動し、移動規制部 61 に対向しない状態となる。その結果、シャッタ部材 21 は、移動規制部 61 により移動規制が解除された状態となって、ヘッド部用開口部 13 を開放する図 19 中矢印 A 方向の移動が可能な状態となる。

【0096】

上述したように、本例のディスクカートリッジ 100 も、ヘッド部用開口部 13 を閉塞位置にあるシャッタ部材 21 の開放方向への移動が規制されているので、カートリッジ本体 5 に収納した光ディスクの確実な保護を図ることができる。

【0097】

ところで、収納するディスク状記録媒体の小型化が図られ、このディスク状記録媒体を収納するカートリッジ本体の小型化が図られたディスクカートリッジにおいては、製造の容易化や製造コストの低廉化を図るため、構成自体の簡素化も要求される。

【0098】

そこで、本発明に係る他のディスクカートリッジは、シャッタ部材を設けることなくヘッド部用開口部を開放したままに構成したものであり、上述したシャッタ部材 21 を備えるディスクカートリッジ 1 が装着されるカートリッジ装着装置を備えたディスク記録及び／又は再生装置に互換性をもって装着できるように構成されたものである。

【0099】

シャッタ部材を設けることなく構成された本発明に他のディスクカートリッジ 201 は
出証特 2005-3007897

、前述したディスクカートリッジ1と外形形状を共通にして形成されている。また、このディスクカートリッジ201は、基本的な構成を上述したディスクカートリッジ1と共通にする。したがって、以下の説明では、共通する部分には共通の符号を付して詳細な説明は省略する。

【0100】

シャッタ部材を設けることなく構成された本発明に係るディスクカートリッジ201も前述したディスクカートリッジ1と同様に、図20及び図21に示すように、上下一対のハーフ3、4を突き合わせ結合したカートリッジ本体5を備え、このカートリッジ本体5内に光ディスク2を回転可能に収納している。

【0101】

このディスクカートリッジ201を構成するカートリッジ本体5は、図20及び図21に示すように、このディスクカートリッジ201が装脱されるディスク記録及び／又は再生装置への挿入端側となる一側面である前面側を円弧状部7として形成している。

【0102】

カートリッジ本体5の円弧状部7に連続する相対向する側面は、互いに平行な側面8、9として形成され、円弧状部7と対向する背面側は、なだらかに湾曲して連続した湾曲部10として形成されている。すなわち、カートリッジ本体5の背面側は、カートリッジ本体5の前面側に構成された半円状の円弧状部7より大きな半径、すなわち、円弧状部7より曲率が小さい湾曲部10とされている。

【0103】

このディスクカートリッジ201においても、カートリッジ本体5の下面側を構成する下ハーフ4の中央部には、図21に示すように、カートリッジ本体5に収納した光ディスク2の中心部に形成したセンター穴11及びその周縁を外方に臨ませる円形のディスク駆動部用開口部12が形成されている。

【0104】

また、下ハーフ4には、図21に示すように、記録及び／又は再生用開口部を構成するヘッド部用開口部13が形成されている。ヘッド部用開口部213は、カートリッジ本体5の一方の側面8側に位置し、ディスク駆動部用開口部12に近接した位置から側面8に亘って矩形状に形成されている。すなわち、ヘッド部用開口部213は、カートリッジ本体5に収納された光ディスク2の信号記録領域の一部を内外周に亘って外方に臨ませる足る大きさの矩形状に形成されている。このヘッド部用開口部213も、図21に示すように、一方の側面8に位置するカートリッジ本体5の外周縁側を開放して形成されている。また、ヘッド部用開口部213は、ディスク駆動部用開口部12に連続することなく、ディスク駆動部用開口部12との間に接続部14を残して形成されているので、下ハーフ4の機械的強度を維持することができる。

【0105】

本例のディスクカートリッジ201は、ヘッド部用開口部213を開閉するシャッタ部材を設けることなく構成されているので、カートリッジ本体5の下面を構成する下ハーフ4の外方側の面も、図21に示すように、駆動部用開口部12及びヘッド部用開口部213が形成された部分を除いて平坦な面として形成されている。

【0106】

ところで、本例のディスクカートリッジ101に設けたヘッド部用開口部213は、図21及び図22に示すように、前述したディスクカートリッジ1に形成したヘッド部用開口部13よりも大きく形成されている。本例のディスクカートリッジ201に設けたヘッド部用開口部213は、カートリッジ本体5の挿入端側から背面側に至る前後方向の中心より挿入端側の領域を大きく開放して形成されている。これは、このディスクカートリッジ201に収納した光ディスク2の信号記録領域を光ビームにより走査する光ヘッド部をカートリッジ本体5内に進入させ、光ディスク2に近接させるようにするためである。

【0107】

このように、光ヘッドを光ディスク2に近接させることができるので、開口数 (NA)

の大きな対物レンズを用いた光ヘッド部により光ディスク2の走査を行うことができるので、光ディスク2の高密度化が図られ、さらに、このディスクカートリッジ101を用いる記録及び／又は再生装置の薄型化も可能となる。

【0108】

そして、本例のディスクカートリッジ201は、シャッタ部材を設けることなく構成されているので、ヘッド部用開口部213の開放側が臨むカートリッジ本体5の一方の側面8も、図20及び図21に示すように、ヘッド部用開口部213が形成された部分を除いて外周壁15の外周面に連続する平坦な面とされている。また、このディスクカートリッジ201は、シャッタ部材21を設けたディスクカートリッジ1と外形形状を共通に形成されているので、前述したシャッタ部材21を備えたディスクカートリッジ1が装着されるディスク記録及び／又は再生装置に設けられるカートリッジ装着装置を構成するカートリッジホルダ81に挿入操作されるとき、カートリッジホルダ81に設けたシャッタ開放操作機構91によりカートリッジ本体5の一方の側面8が直接押圧された状態になる。さらに、カートリッジホルダ81の所定位置に装着された状態においても、シャッタ開放操作機構91による押圧力を受けたままの状態におかれる。すなわち、本例のディスクカートリッジ201は、シャッタ部材が存在しないので、シャッタ開放操作機構91が直接カートリッジ本体5を押圧してしまう。

【0109】

そこで、本例のディスクカートリッジ201は、前述したシャッタ部材21を備えたディスクカートリッジ1が装着されるカートリッジホルダ81に装着されたとき、シャッタ開放操作機構91から押圧力を回避するための押圧力回避部202が設けられている。押圧力回避部202は、図23に示すように、ディスクカートリッジ201がカートリッジホルダ81の所定装着位置に装着されたとき、シャッタ開放操作機構91を構成する板バネ92に設けたシャッタ開放操作部93と対向する位置に設けられる。

【0110】

押圧力回避部202は、カートリッジ本体5の一方の側面8の下ハーフ4側の部分に凹部として形成されている。この押圧力回避部202は、シャッタ開放操作機構91からの押圧力を回避するためのものであるので、シャッタ開放操作部93がカートリッジ本体5に接触しないようにするための形状及び深さの凹部として形成されている。

【0111】

すなわち、押圧力回避部202は、押圧力回避部202が一旦係合したとき容易に抜けないようにするため凹部として形成されている。そして、押圧力回避部202が係合するときには、板バネ92を弾性変位させながら押圧力回避部202の一方の立ち上がり部を乗り上げるようにして係合していく。

【0112】

なお、押圧力回避部202は、シャッタ開放操作部93の進入を容易にするため、シャッタ開放操作部93の進入側をなだらかな傾斜面202aとしている。

【0113】

また、押圧力回避部202は、カートリッジ本体3の一方の側面8を構成する立ち上がり周壁15の一部を切り欠いた切り欠き部として形成したものであってもよい。

【0114】

本例のディスクカートリッジ201は、ヘッド部用開口部13を開閉するシャッタ部材21が設けられ、このシャッタ部材21を閉塞位置に保持しておく機構が設けられたディスクカートリッジ1が装着されるカートリッジ装着装置に装着した場合にも、シャッタ開放操作機構91からの負荷を受けることなく安定した状態で装着することができる。

【0115】

また、本例のディスクカートリッジ201は、収納した光ディスク2の記録容量や光ディスク2の種類を識別するための複数のディスク識別部204、205、206が下ハーフ4側に形成されている。これらディスク識別部204、205、206は、図21及び図22に示すように、ディスク収納部6と湾曲部10とにより囲まれた領域内とともに、

ディスク収納部 6 が設けられた領域内にも形成されている。ここで、ディスク収納部 6 と湾曲部 10 とにより囲まれた領域に設けられるディスク識別部 204, 205 は、下ハーフ 4 の一部に透孔若しくは有底の凹部を形成して構成されている。ディスク収納部 6 内に設けられる識別部 206 は、有底の凹部として形成されている。これは、ディスク収納部 6 に塵埃等が進入してしまうことを防止するためである。

【0116】

このように、ディスク収納部 6 が設ける領域にまでディスク識別部 206 を設けることにより、小型のディスクカートリッジ 201 においても、多数のディスク識別部を設けることができ、複数種類の光ディスクを収納して多様なディスクカートリッジを構成でき、これら多様なディスクカートリッジを容易に識別することが可能となる。

【0117】

なお、上述したようなディスク識別部 204, 205, 206 は、前述したディスクカートリッジ 1 にも、上述のディスクカートリッジ 201 と同様に設けるようにしてもよい。

【0118】

上述した説明では、本発明を再生専用の光ディスクを収納した例を挙げて説明したが、本発明は、記録再生が可能な光ディスク等、その他のディスク状記録媒体を収納したディスクカートリッジにも適用でき、上述したディスクカートリッジに適用した場合と同様の利点を得ることができる。

【0119】

また、上述した説明において、ディスクカートリッジの一層の小型化を実現するため、カートリッジ本体として前面側を円弧状部としたものを用いた例を挙げて説明したが、本発明は、このようなカートリッジ本体を用いるものに限定されることなく、従来広く用いられている矩形状のカートリッジ本体を用いたディスクカートリッジにも適用することができる。

【図面の簡単な説明】

【0120】

【図 1】本発明に係るディスクカートリッジを上ハーフ側から見た斜視図である。

【図 2】本発明に係るディスクカートリッジを下ハーフ側から見た斜視図である。

【図 3】本発明に係るディスクカートリッジを下ハーフ側から見た平面図である。

【図 4】シャッタ部材と、シャッタ部材が取り付けられるカートリッジ本体を示す斜視図である。

【図 5】シャッタ移動規制部が設けられた弾性変位片と、この弾性変位片が取り付けられるシャッタ部材を示す斜視図である。

【図 6】シャッタ部材に弾性変位片を取り付けた状態を示す平面図である。

【図 7】シャッタ部材に弾性変位片を取り付けた状態を示す移動ガイド片から見た正面図である。

【図 8】シャッタ部材を上ハーフ側に設けたガイドレール部に取り付けた状態を示す断面図である。

【図 9】シャッタ部材がヘッド部用開口部を閉塞した状態を下ハーフの内面側から見た平面図である。

【図 10】シャッタ部材がヘッド部用開口部を開放した位置に移動した状態を下ハーフの内面側から見た平面図である。

【図 11】本発明に係るディスクカートリッジが装着されるディスク記録及び／又は再生装置のディスクドライブ部を示す斜視図である。

【図 12】カートリッジホルダにディスクカートリッジを挿入した状態を示す平面図である。

【図 13】カートリッジホルダにディスクカートリッジを挿入し、ヘッド部用開口部が開放された状態を示す平面図である。

【図 14】シャッタ部材と、シャッタ部材が取り付けられるカートリッジ本体の他の

例を示す斜視図である。

【図15】弾性片により押圧操作されるシャッタ移動規制部材が取り付けられるシャッタ部材を示す斜視図である。

【図16】シャッタ移動規制部材が取り付けられたシャッタ部材を示す平面図である。

【図17】シャッタ部材にシャッタ移動規制部材を取り付けた状態を移動ガイド片から見た正面図である。

【図18】シャッタ部材がヘッド部用開口部を閉塞した状態を下ハーフの内面側から見た平面図である。

【図19】シャッタ部材がヘッド部用開口部を開放した位置に移動した状態を下ハーフの内面側から見た平面図である。

【図20】本発明に係る他の例のディスクカートリッジを上ハーフ側から見た斜視図である。

【図21】本発明に係る他の例のディスクカートリッジを下ハーフ側から見た斜視図である。

【図22】本発明に係る他の例のディスクカートリッジを下ハーフ側から見た平面図である。

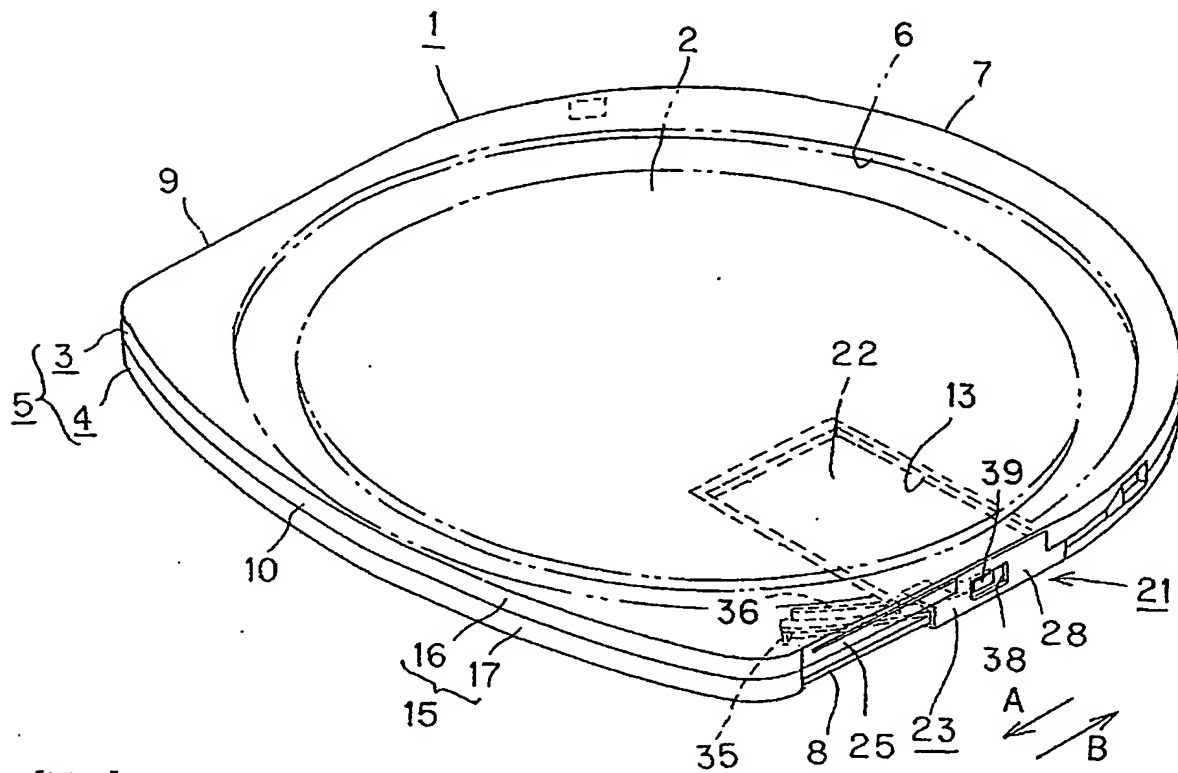
【図23】本発明に係る他の例のディスクカートリッジをディスク記録及び／又は再生装置のカートリッジホルダに装着した状態を示す平面図である。

【符号の説明】

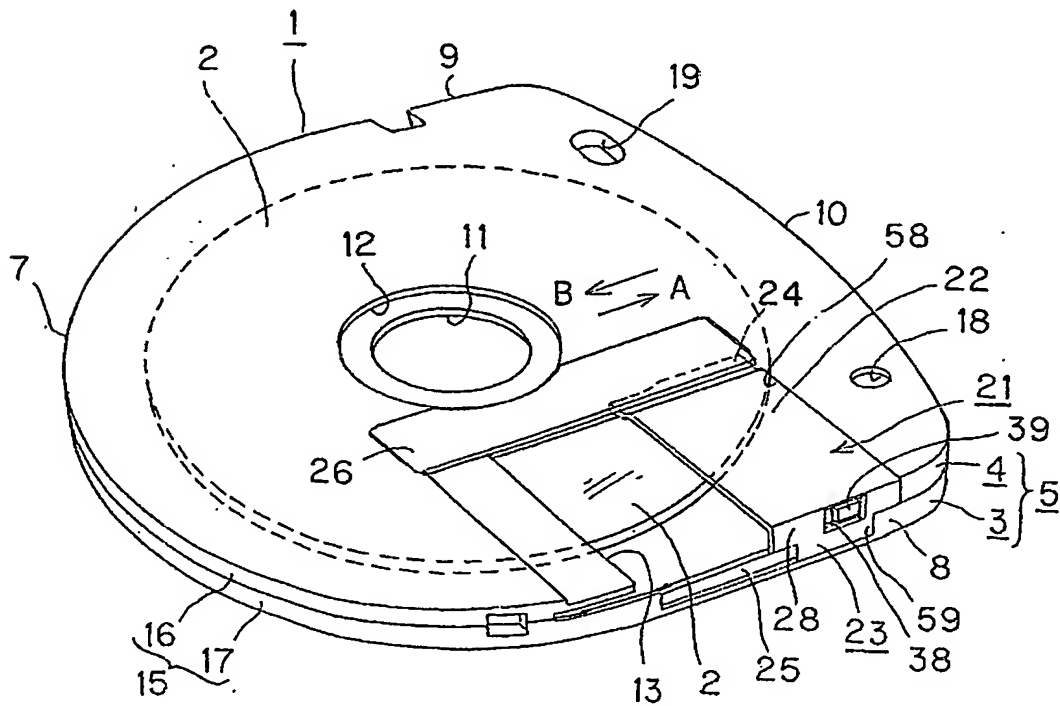
【0121】

1 ディスクカートリッジ、 2 光ディスク、 3 上ハーフ、 4 下ハーフ、
5 カートリッジ本体、 13 ヘッド部用開口部、 21 シャッタ部材、 22 シャッタ部、
23 カートリッジ支持部、 28 移動ガイド片、 35 連結アーム、
36 弾性変位片、 39 押圧操作部、 41 シャッタ移動規制部、 42 係止部、
45 移動規制部

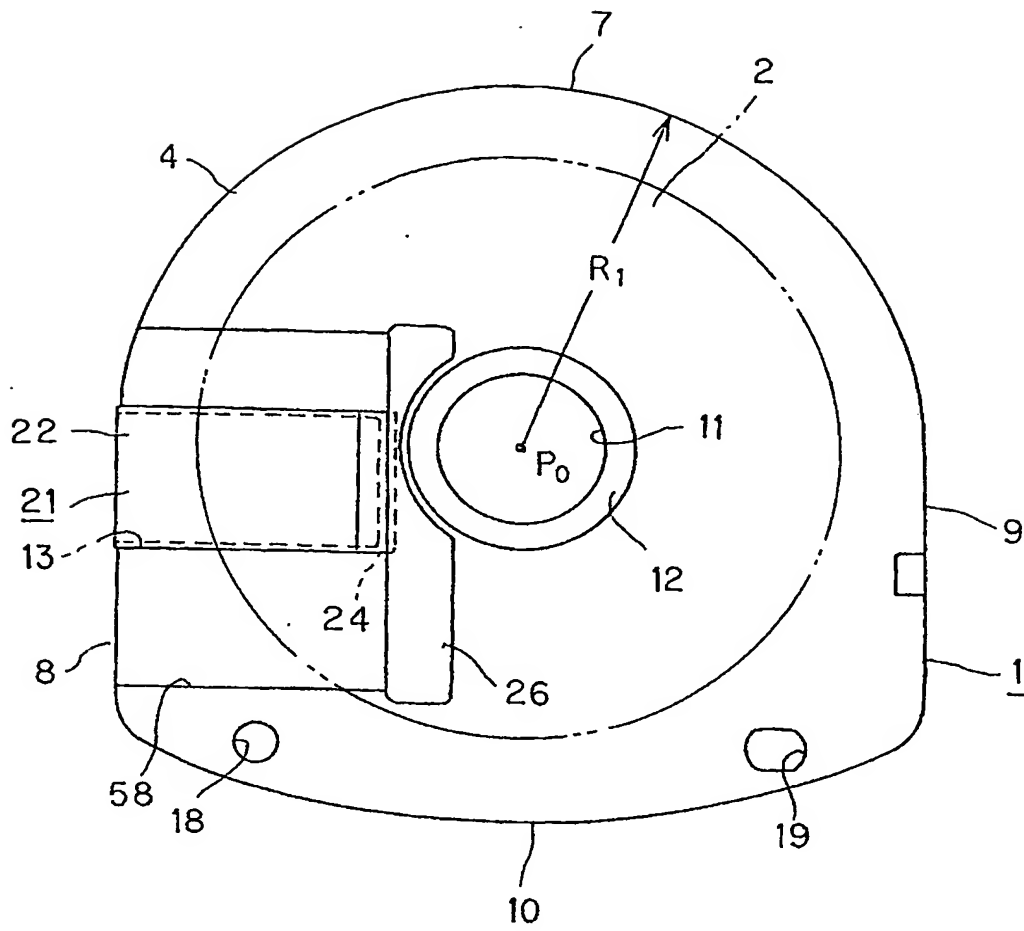
【書類名】 図面
【図 1】



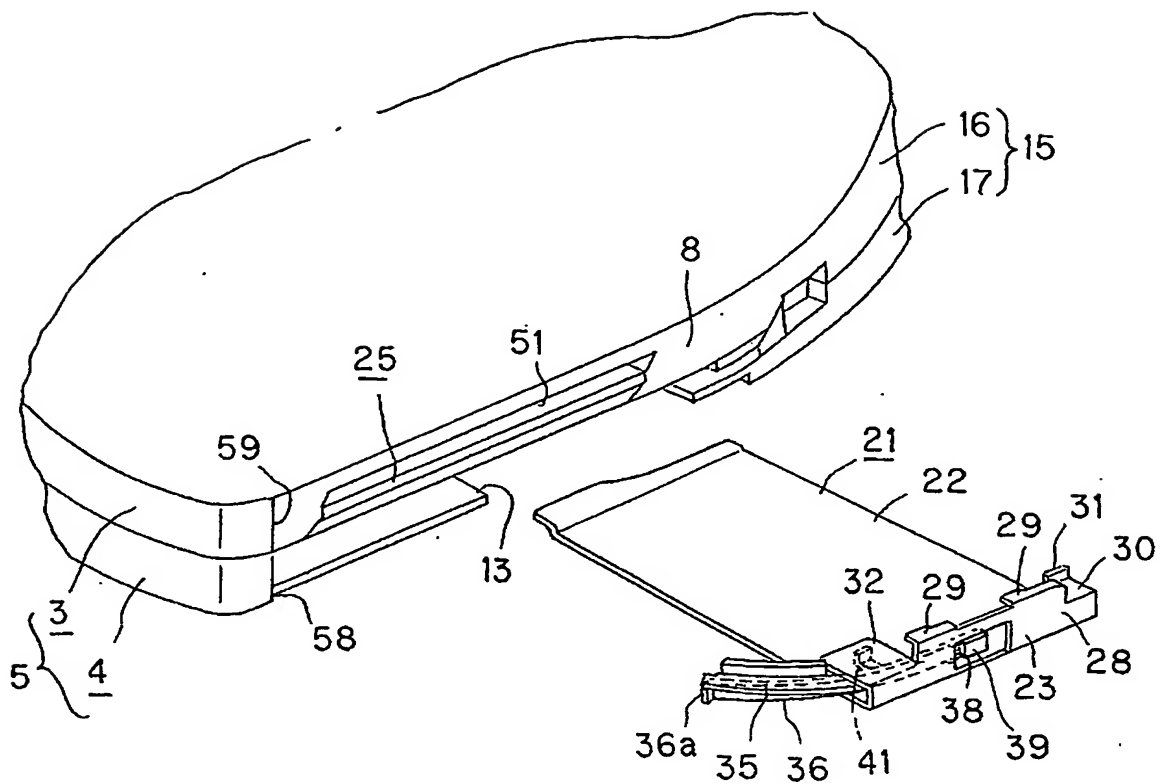
【図 2】



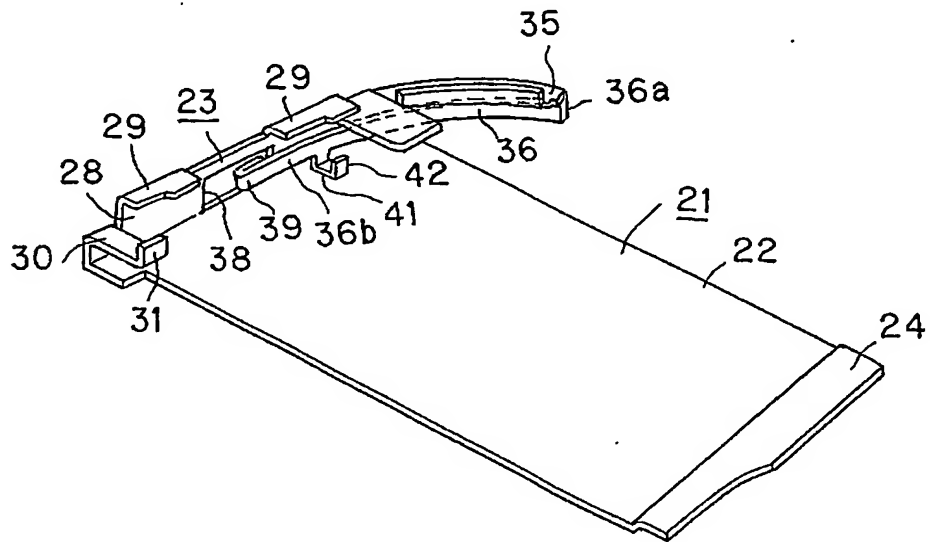
【図 3】



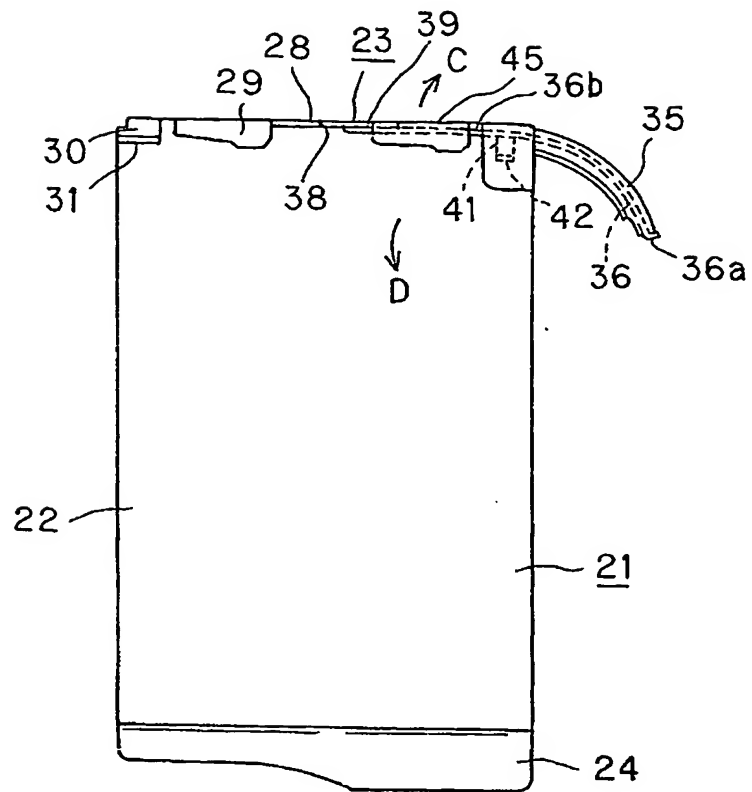
【図 4】



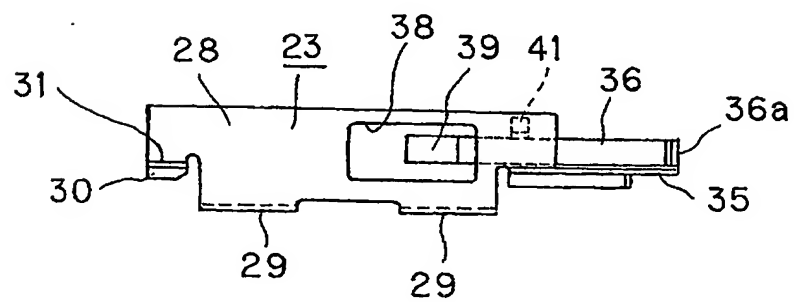
【図 5】



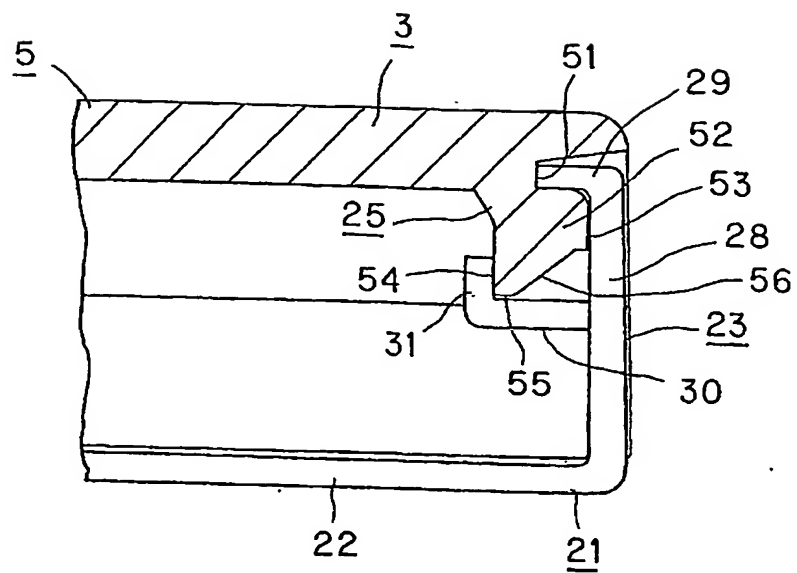
【図 6】



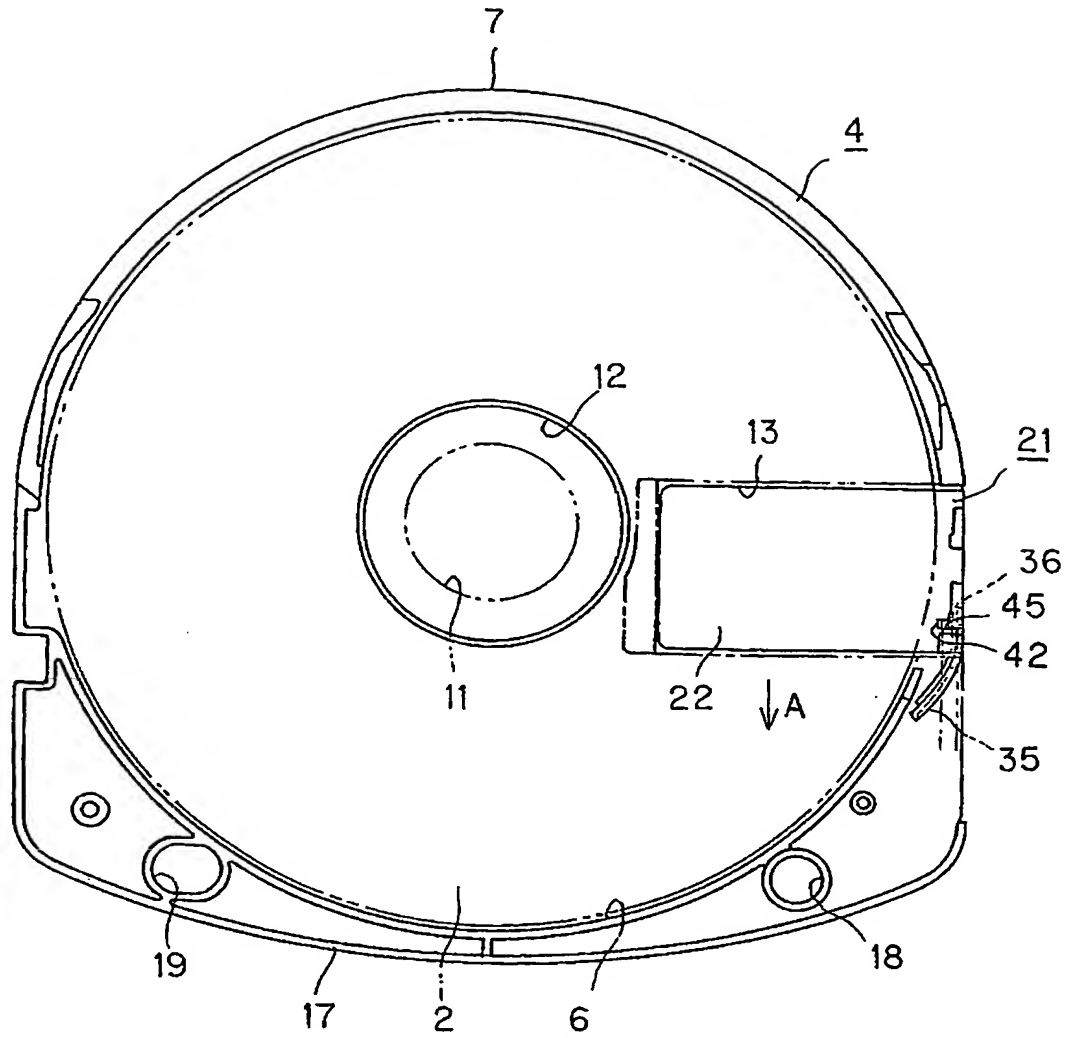
【図 7】



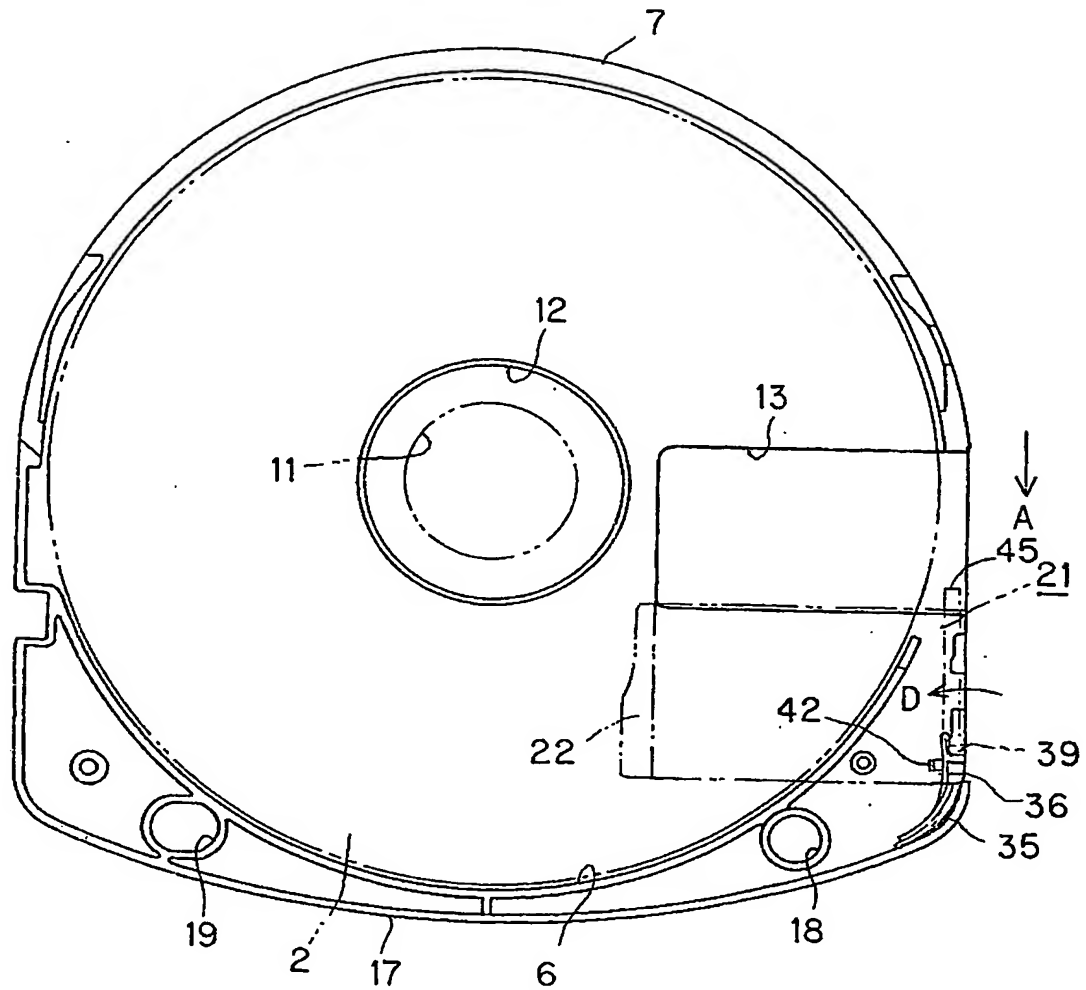
【図 8】



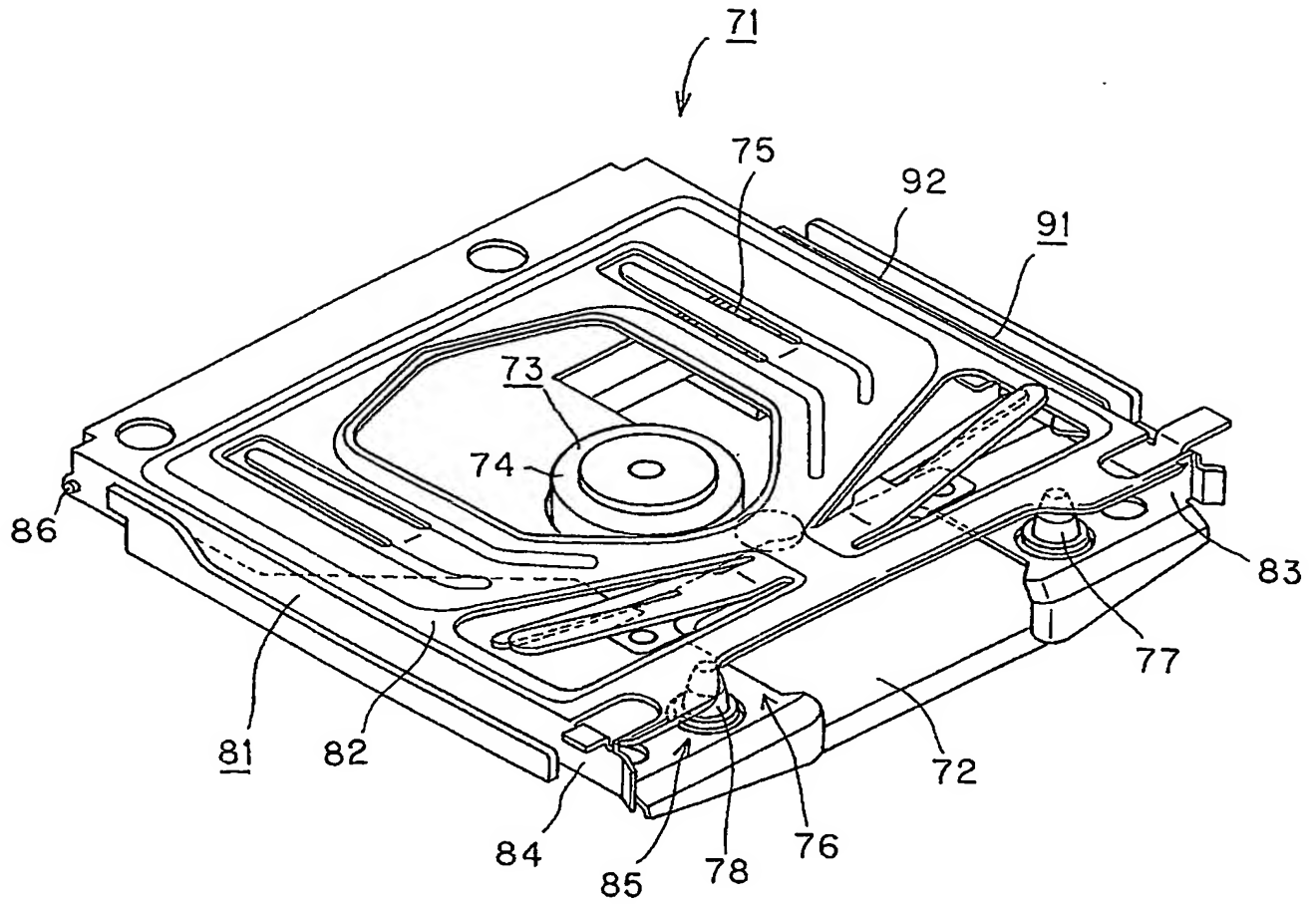
【図 9】



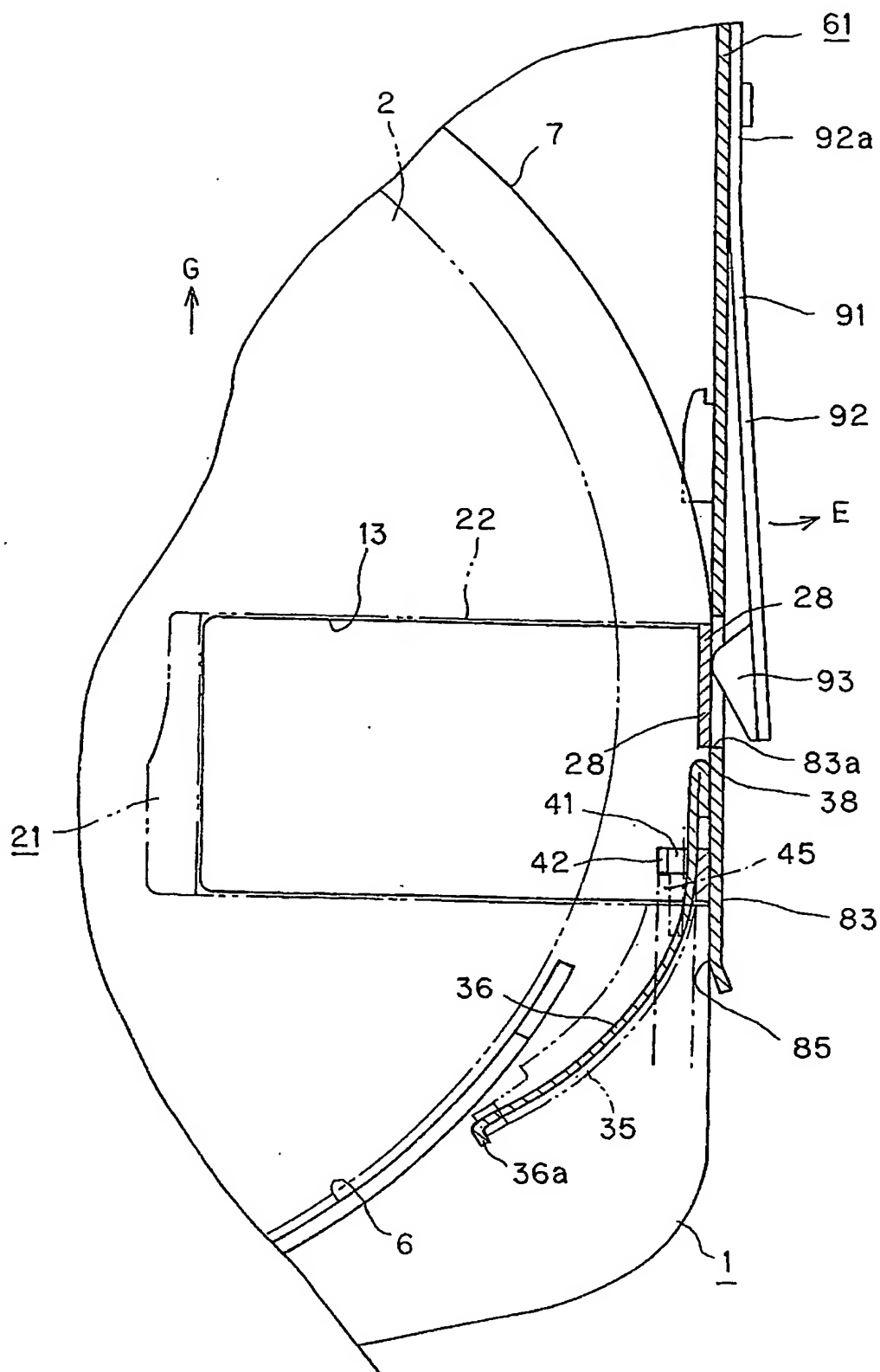
【図 10】



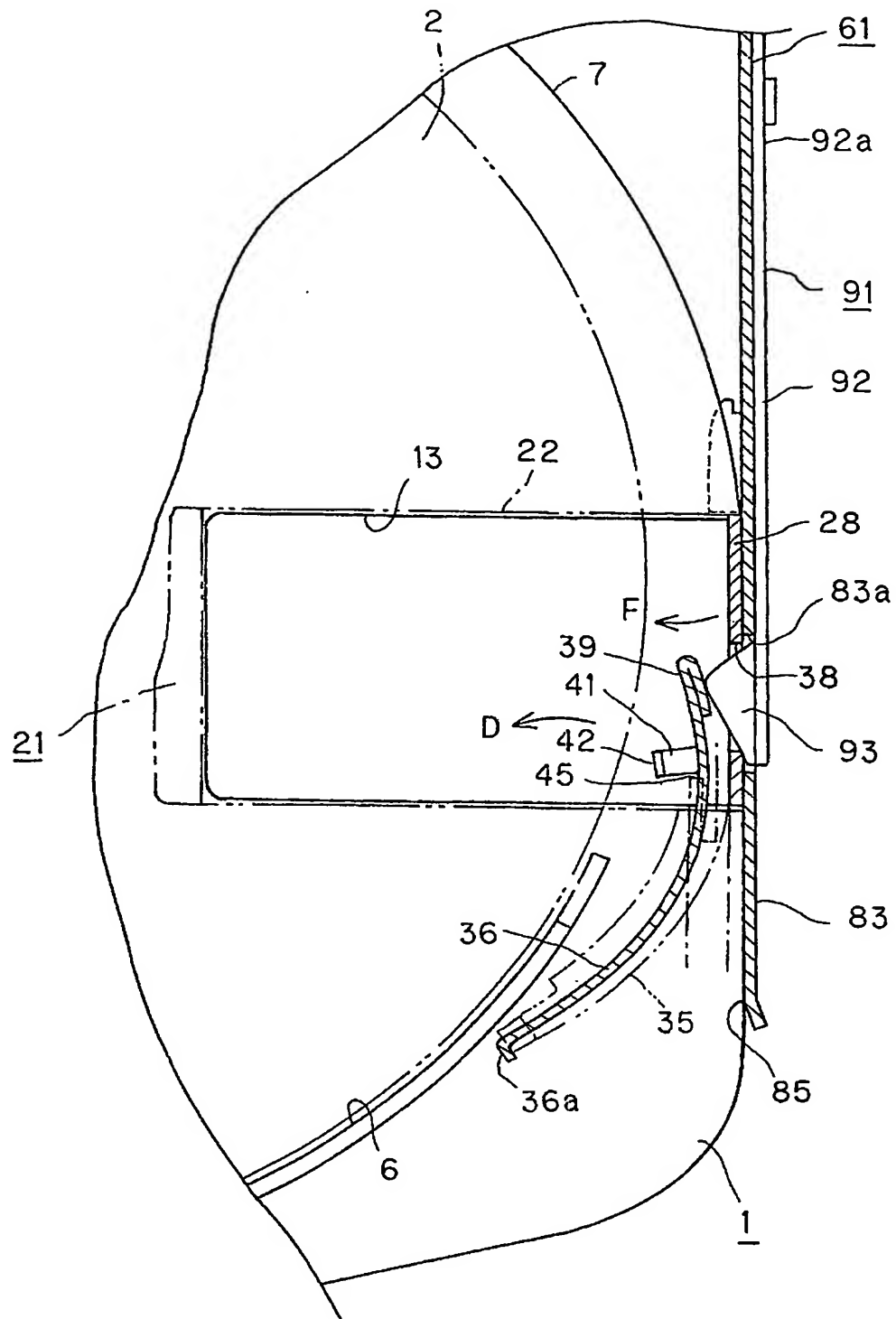
【図 11】



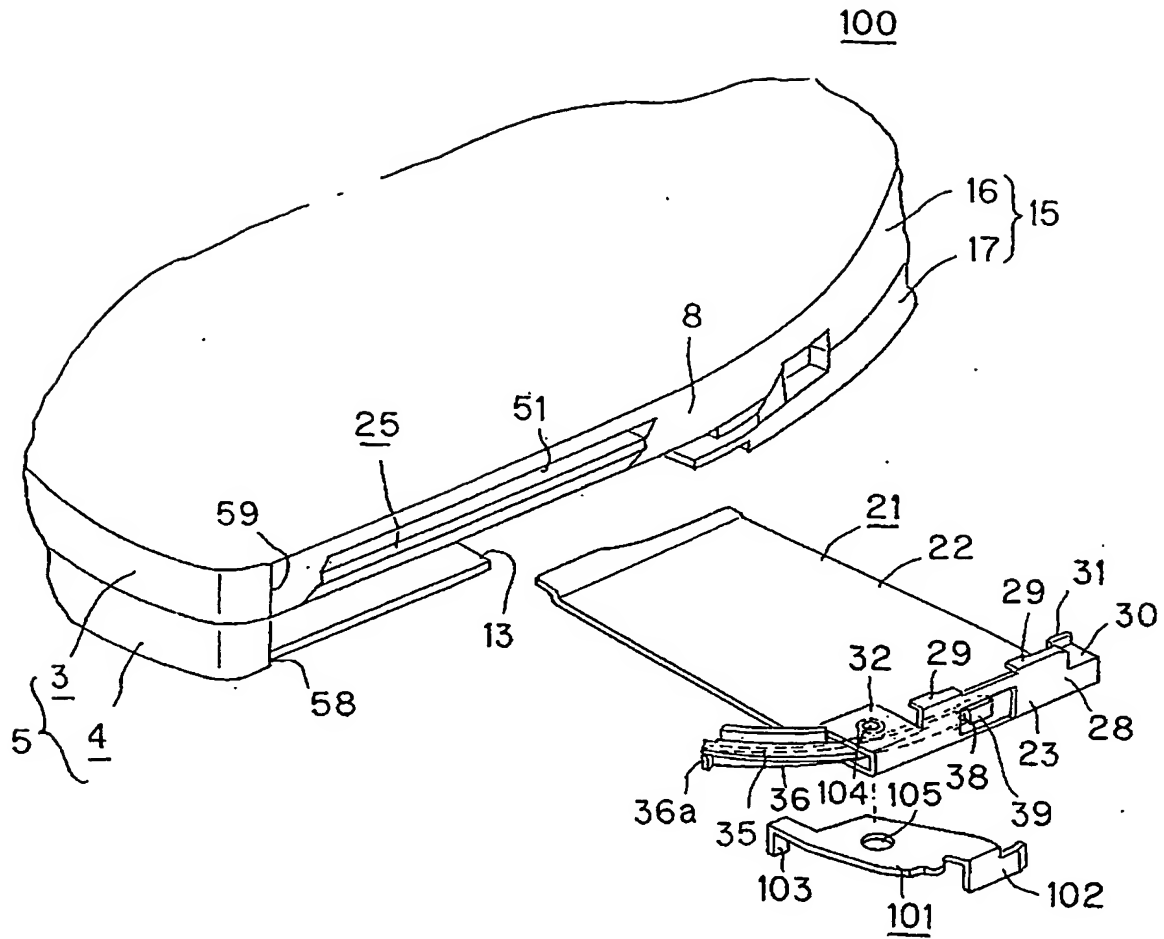
【図12】



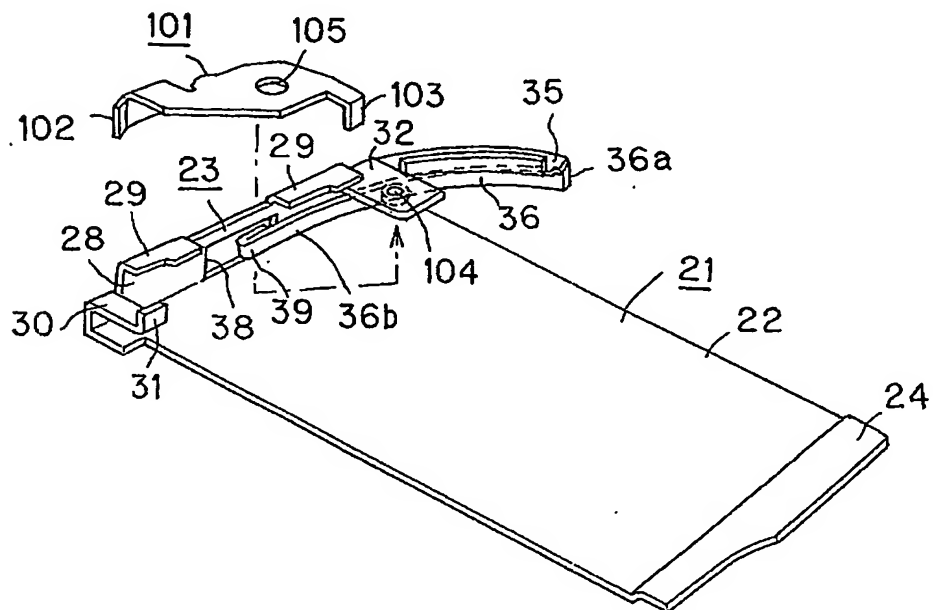
【図 13】



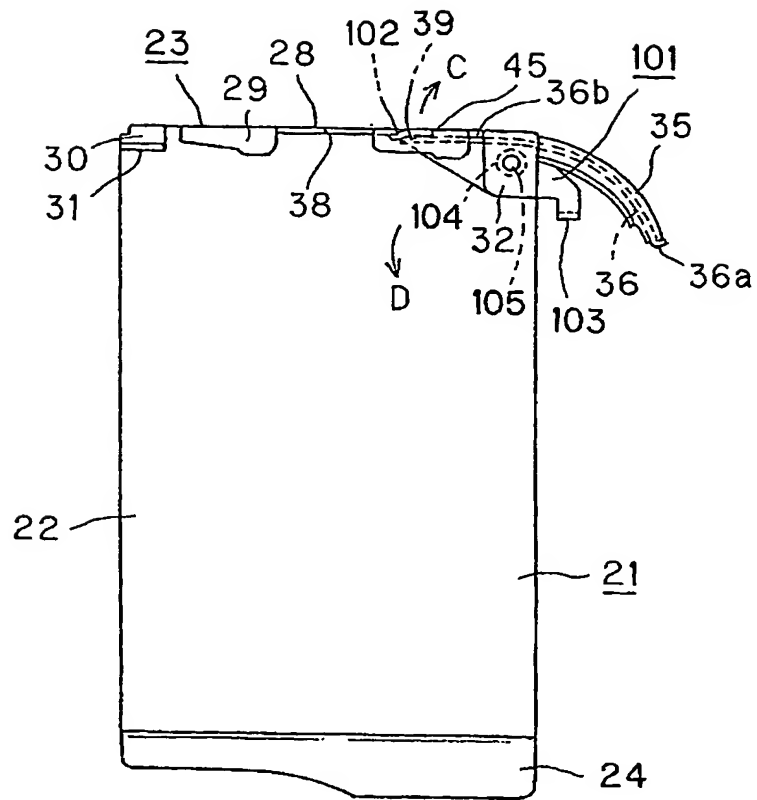
【図 14】



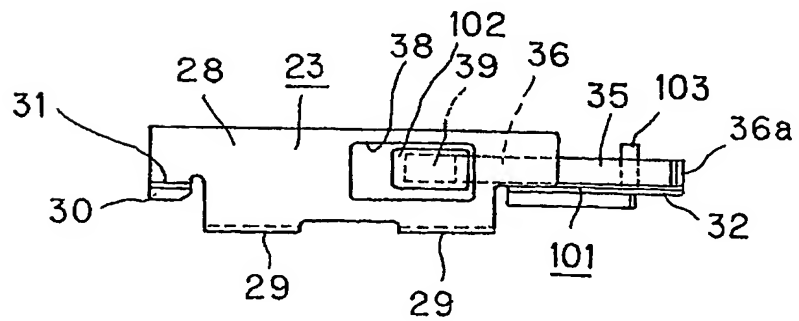
【図 15】



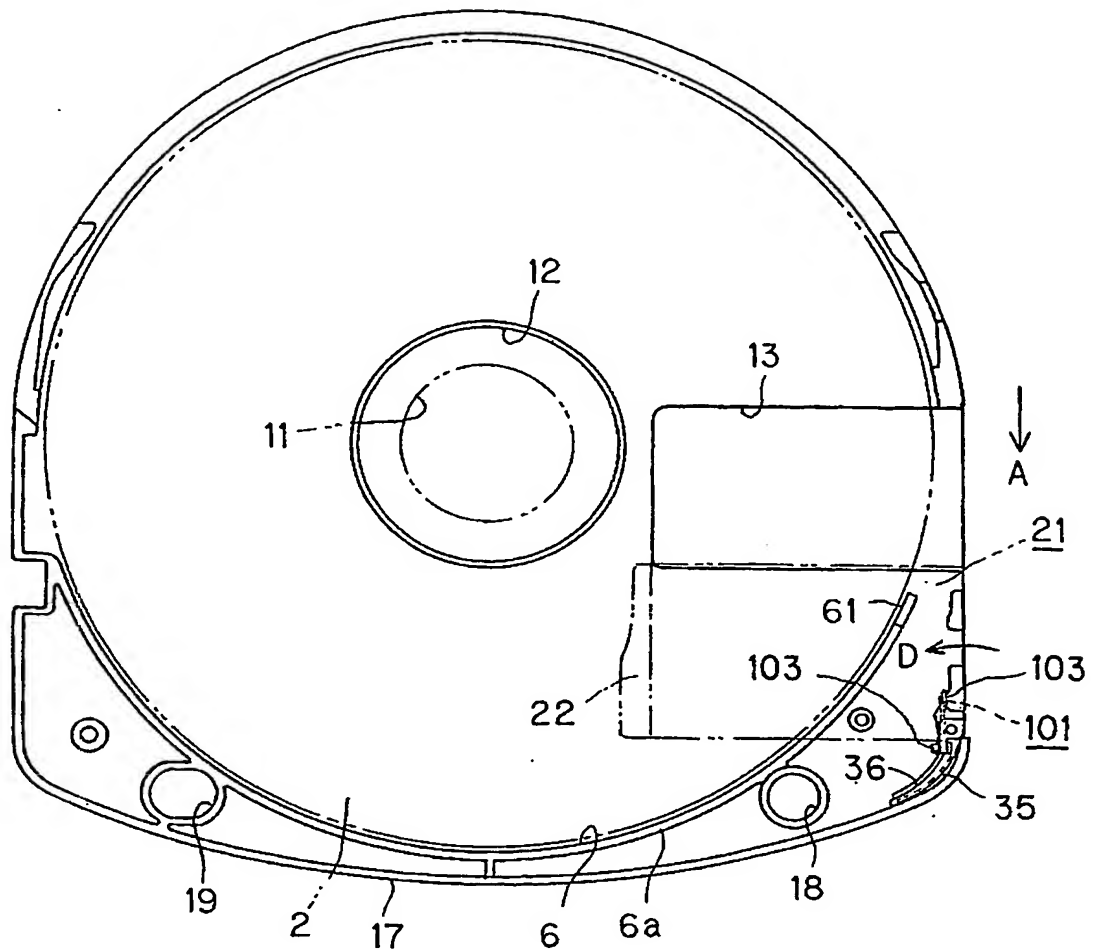
【図16】



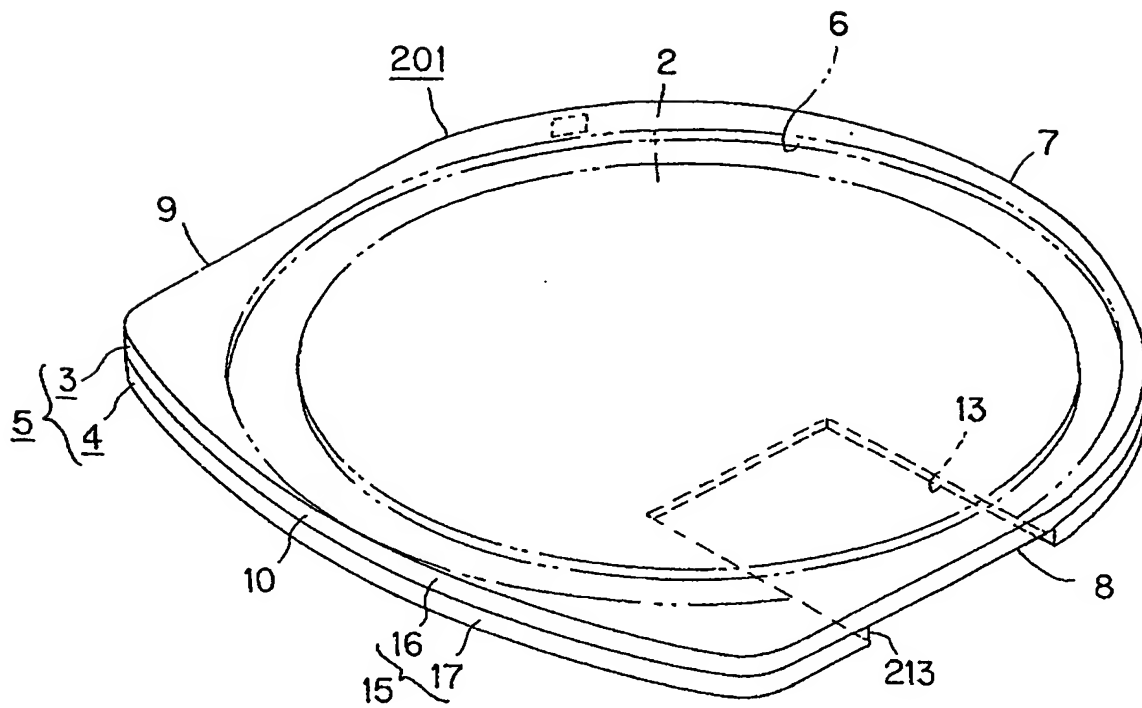
【図17】



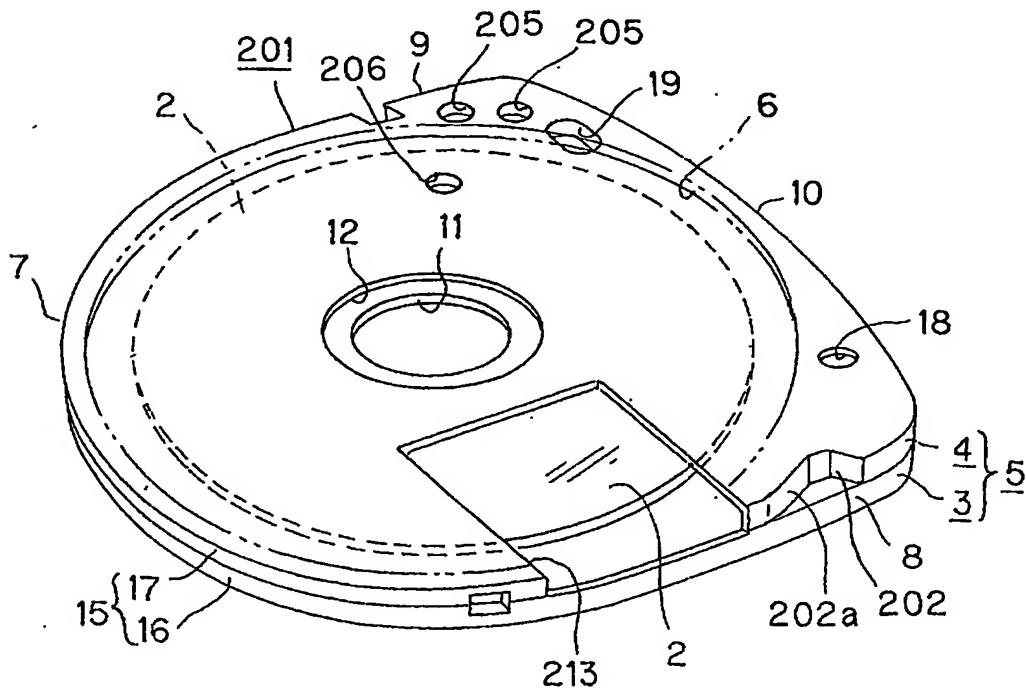
【図 19】



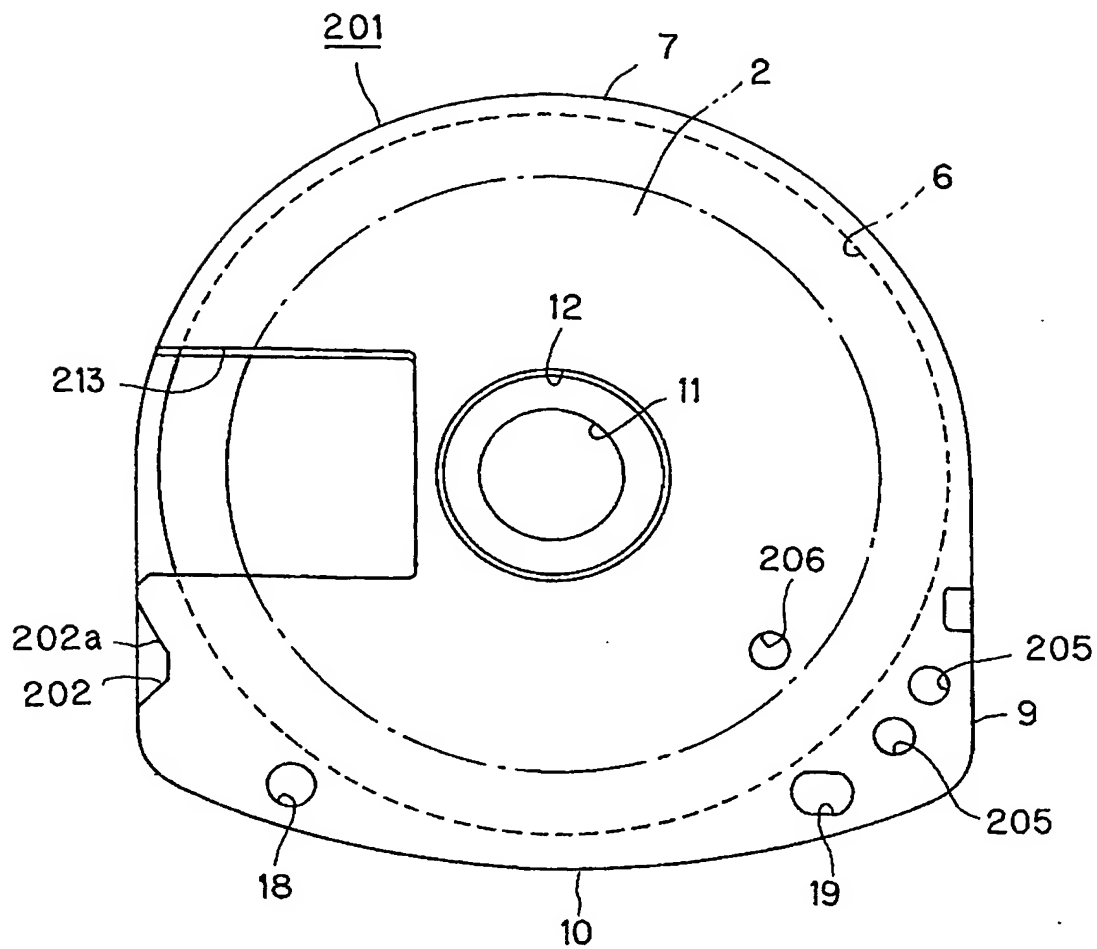
【図 20】



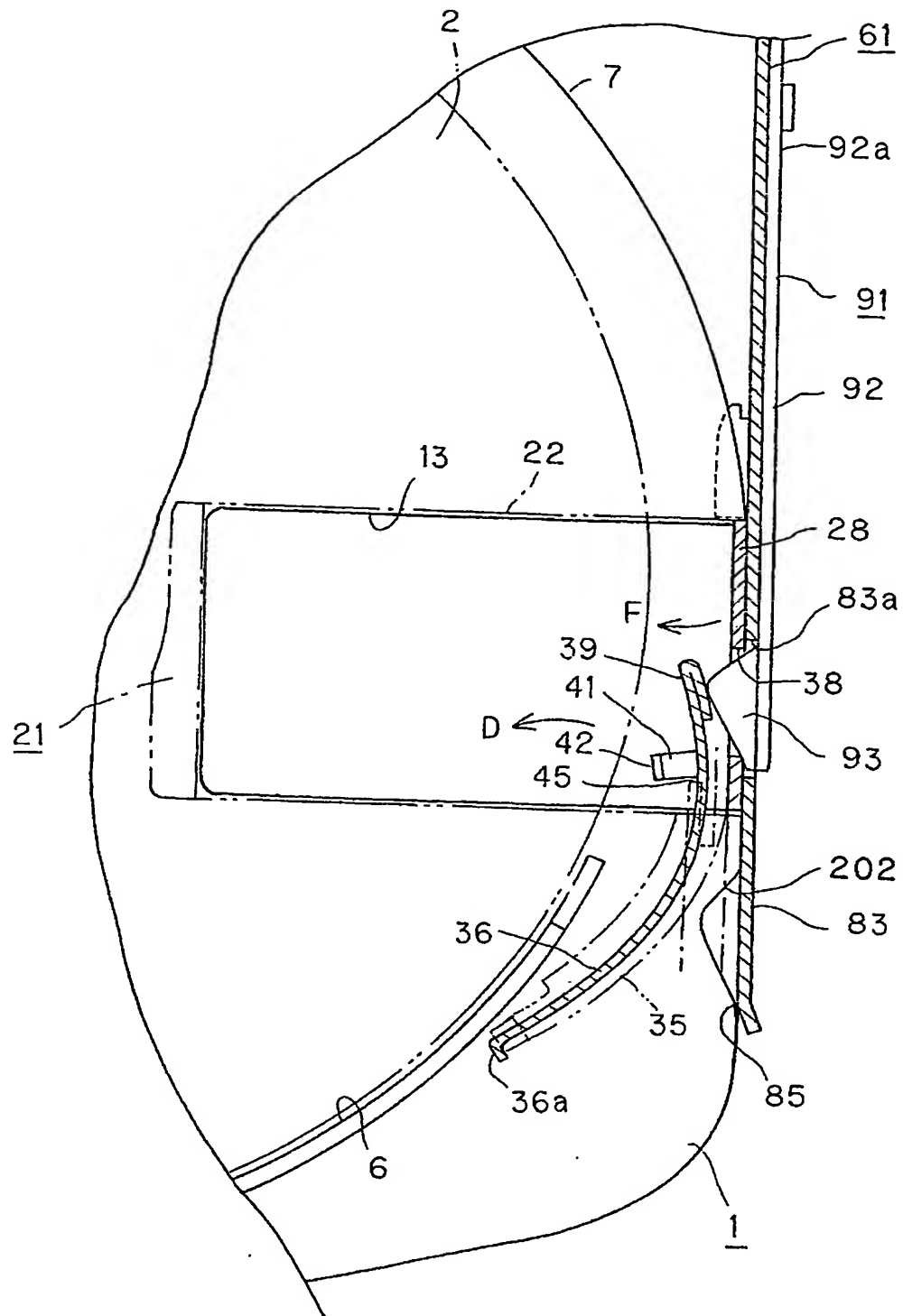
【図 21】



【図 22】



【図 23】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 小型で、組み立てが容易で、ヘッド部用開口部を確実に閉塞し、カートリッジ本体に収納した光ディスクの確実な保護を図る。

【解決手段】 光ディスク 2 を収納するとともに、光ディスク 2 の一部を内外周に亘って外方に臨ませるヘッド部用開口部 13 を設けられたカートリッジ本体 5 と、ヘッド部用開口部 13 を開閉するシャッタ部 22 を有し、ヘッド部用開口部 13 を閉塞した位置と開放した位置との間に亘って移動可能にカートリッジ本体 5 に取り付けられたシャッタ部材 21 と、シャッタ部材 21 の一側から延長された連結アーム 35 に連結された弾性変位片 36 に設けられ、シャッタ部材 21 がヘッド部用開口部 13 を閉塞した位置にあるとき、カートリッジ本体 5 に設けた移動規制部 45 に係止させてシャッタ部材 21 のヘッド部用開口部 13 を開放する方向への移動を規制するシャッタ移動規制部 41 とを備える。

【選択図】 図 4

認定・付加情報

特許出願の番号	特願 2004-140474
受付番号	50400777828
書類名	特許願
担当官	第八担当上席 0097
作成日	平成16年 5月18日

<認定情報・付加情報>

【特許出願人】

【識別番号】	000002185
【住所又は居所】	東京都品川区北品川6丁目7番35号
【氏名又は名称】	ソニー株式会社

【代理人】

申請人

【識別番号】	100067736
【住所又は居所】	東京都千代田区内幸町1丁目1番7号 大和生命ビル11階 小池国際特許事務所
【氏名又は名称】	小池 晃

【選任した代理人】

【識別番号】	100086335
【住所又は居所】	東京都千代田区内幸町1丁目1番7号 大和生命ビル11階 小池国際特許事務所
【氏名又は名称】	田村 榮一

【選任した代理人】

【識別番号】	100096677
【住所又は居所】	東京都千代田区内幸町1丁目1番7号 大和生命ビル11階 小池国際特許事務所
【氏名又は名称】	伊賀 誠司

特願 2004-140474

ページ： 1/E

出願人履歴情報

識別番号

[000002185]

1. 変更年月日

1990年 8月30日

[変更理由]

新規登録

住所

東京都品川区北品川6丁目7番35号

氏名

ソニー株式会社

Document made available under the Patent Cooperation Treaty (PCT)

International application number: PCT/JP05/006867

International filing date: 07 April 2005 (07.04.2005)

Document type: Certified copy of priority document

Document details: Country/Office: JP
Number: 2004-140474
Filing date: 10 May 2004 (10.05.2004)

Date of receipt at the International Bureau: 12 May 2005 (12.05.2005)

Remark: Priority document submitted or transmitted to the International Bureau in compliance with Rule 17.1(a) or (b)



World Intellectual Property Organization (WIPO) - Geneva, Switzerland
Organisation Mondiale de la Propriété Intellectuelle (OMPI) - Genève, Suisse